

名張市男女共同参画に関する  
市民意識調査報告書

平成26年12月

名 張 市

# 目次

---

I	市民意識調査の概要	1
II	回答者の属性	2
	1. 性別	2
	2. 年齢別	2
	3. 職業別	2
	4. 未婚・既婚の別	3
	5. 家族構成	3
III	市民意識調査結果	4
	1. 男女平等意識について	4
	2. 家庭生活について	7
	3. 就労・職業について	13
	4. 女性の社会参画について	17
	5. 男女の人権について	21
	6. 「名張市男女共同参画センター」について	24
	7. 男女共同参画に関する意見	25
IV	資料	31
	市民意識調査票	32

# I 市民意識調査の概要

---

## 1. 調査目的

名張市では、男女共同参画社会の実現に向けて様々な取り組みを行っています。この調査は、男女共同参画に関する市民の意識や実態、ニーズを把握し、第二次男女共同参画基本計画策定の基礎資料とするとともに、今後の男女共同参画推進のための施策に反映させることを目的とします。

## 2. 調査対象

名張市内在住の平成 26 年 8 月 1 日現在満 20 歳以上の男女 1,500 名  
(住民基本台帳より無作為抽出)

## 3. 調査方法及び実施期間

調査方法：郵送配布、郵送回収

実施期間：平成 26 年 10 月 1 日から平成 26 年 10 月 31 日まで

## 4. 回収状況

対象数	1,495 人
有効回収数	598 人
有効回収率	40.0%

## 5. 調査内容

- ・ 男女平等意識について
- ・ 家庭生活について
- ・ 就労・職業について
- ・ 女性の社会参画について
- ・ 男女の人権について
- ・ 「名張市男女共同参画センター」について

## 6. 調査結果の表示方法

(1) 集計結果の%表示は、小数点以下第 2 位を四捨五入していますので、内訳の合計が 100%にならない場合があります。

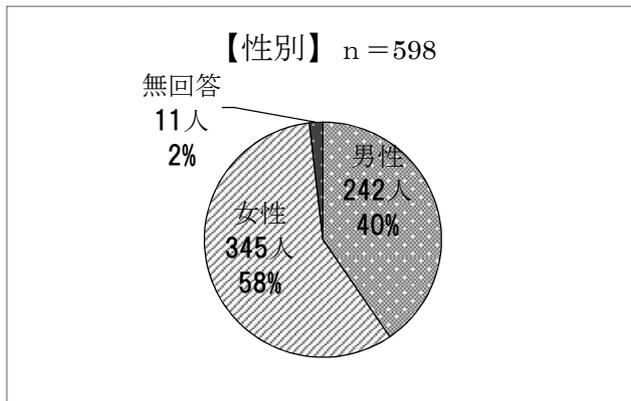
(2) 複数回答の設問の場合、各設問の有効回答数 (N) を基数とし回答比率の算出をしています。

$$\text{※ 回答比率 (\%)} = \text{回答数} / N \times 100$$

(3) グラフ中の選択肢の記述については、実際の選択肢を簡略化している場合があります。

## II 回答者の属性

### 1. 性別

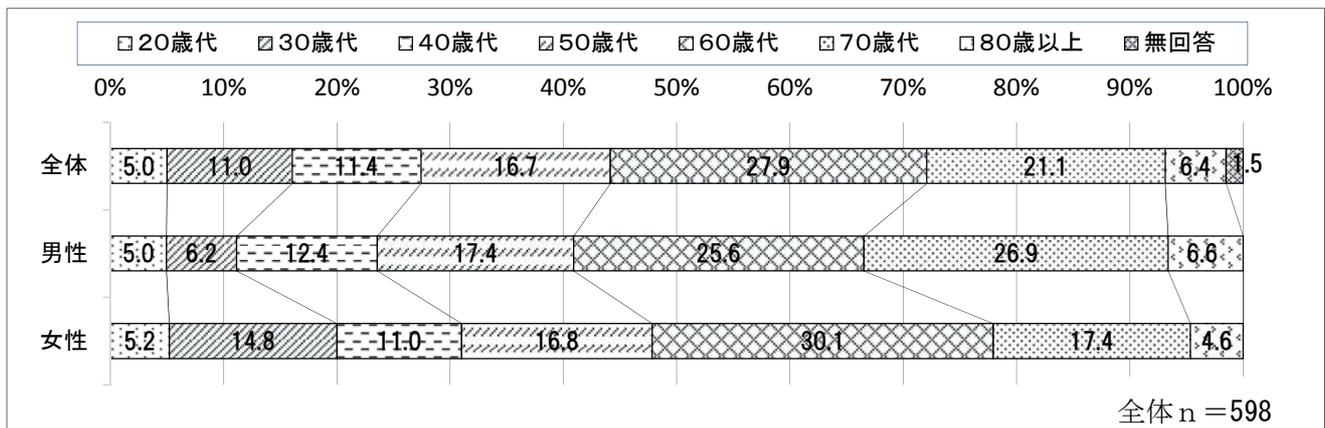


回答者の性別構成比は、「女性」58%、「男性」40%と女性が6割を占めています。

### 2. 年齢別

全体の回答者の年齢層は、60代から70代が多くなっています。

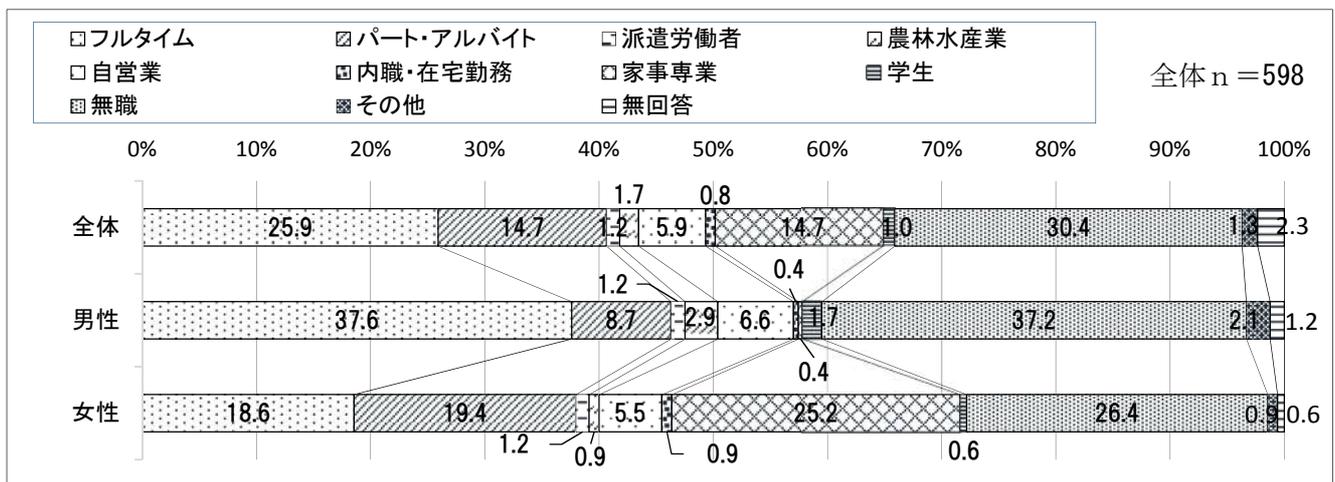
男性では70代が26.9%と一番多く、女性では60代が30.1%と一番多くなっています。



### 3. 職業別

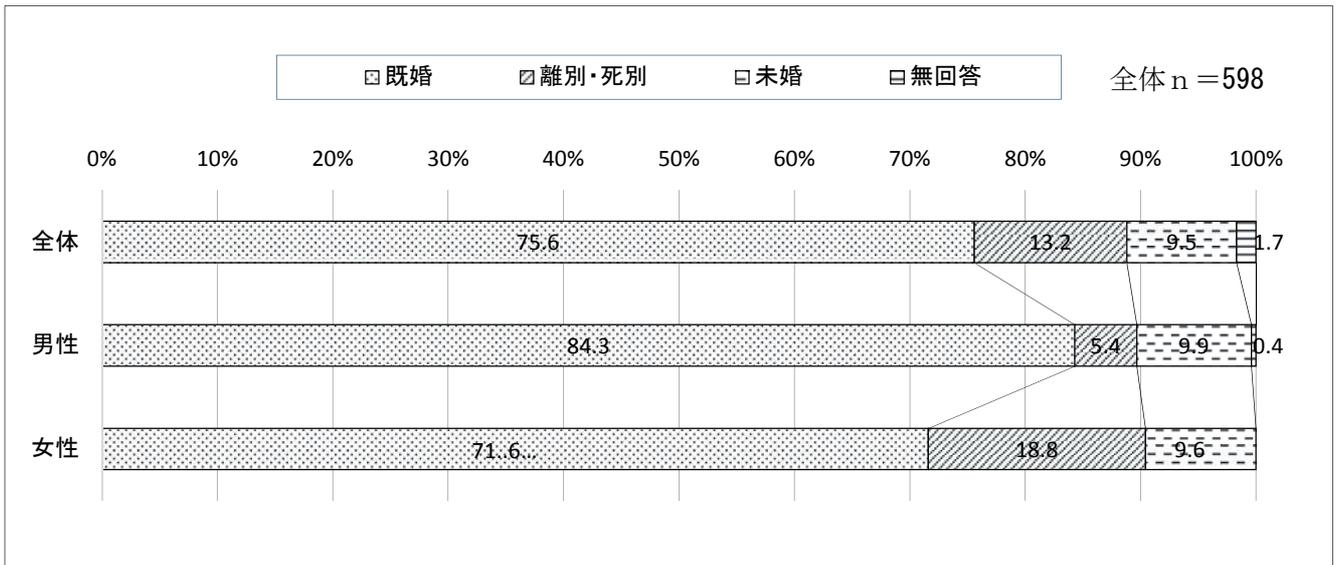
職業別では、「無職」が30.4%と一番多く、次いで「フルタイム」が25.9%となっています。

男性では「フルタイム」が37.6%と一番多く、女性では「無職」が26.4%と一番多くなっています。



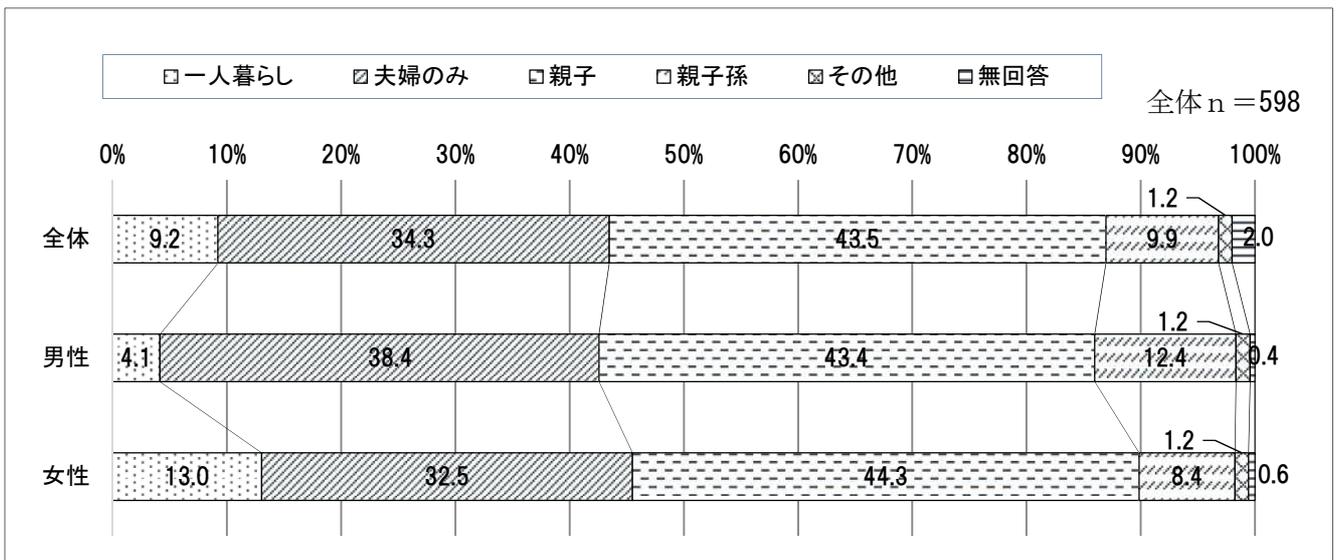
#### 4. 未婚・既婚の別

未婚既婚をみると、全体では、「既婚（配偶者あり）」が75.6%、「既婚（離別・死別）」が13.2%と既婚者が9割を占めています。



#### 5. 家族構成

家族構成の全体では、「親子」が、43.5%と一番多く、次いで「夫婦のみ」が34.3%となっています。



#### その他欄記載事項（6件）

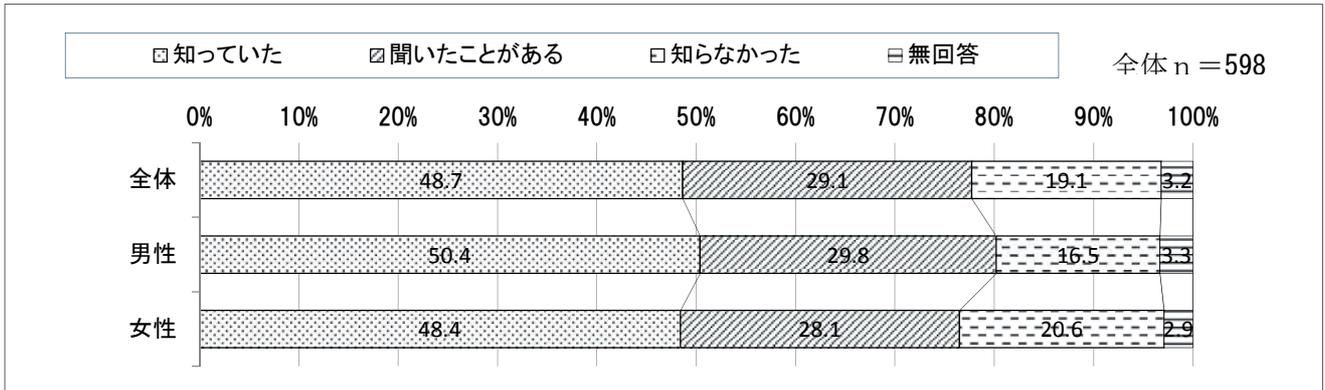
- ・ 孫（70代 男性）
- ・ 夫婦とその姉妹（50代 女性）
- ・ 兄弟（60代 男性、40代 男性）
- ・ 姉妹（60代 女性）
- ・ 夫婦と子と夫婦の妹（40代 女性）
- ・ 夫婦とその兄弟夫婦（80代 女性）

### Ⅲ 市民意識調査結果

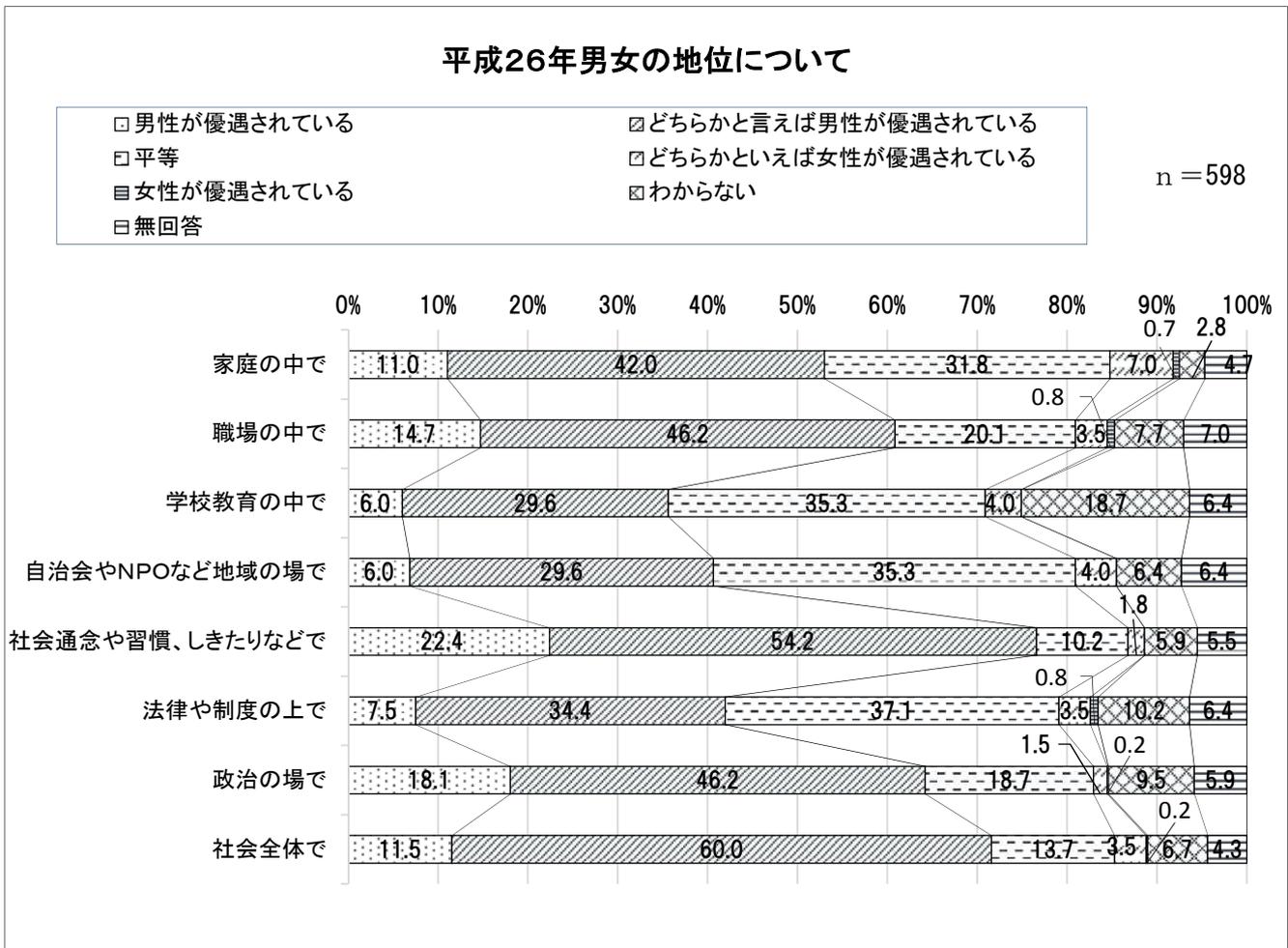
#### 1. 男女平等意識について

問1. あなたは「男女共同参画」という言葉を知っていましたか。(〇は1つ)

「男女共同参画」という言葉の認知度について、全体では「知っていた(知っていた+聞いたことがある)」と答えた人が77.8%と約8割を占めています。



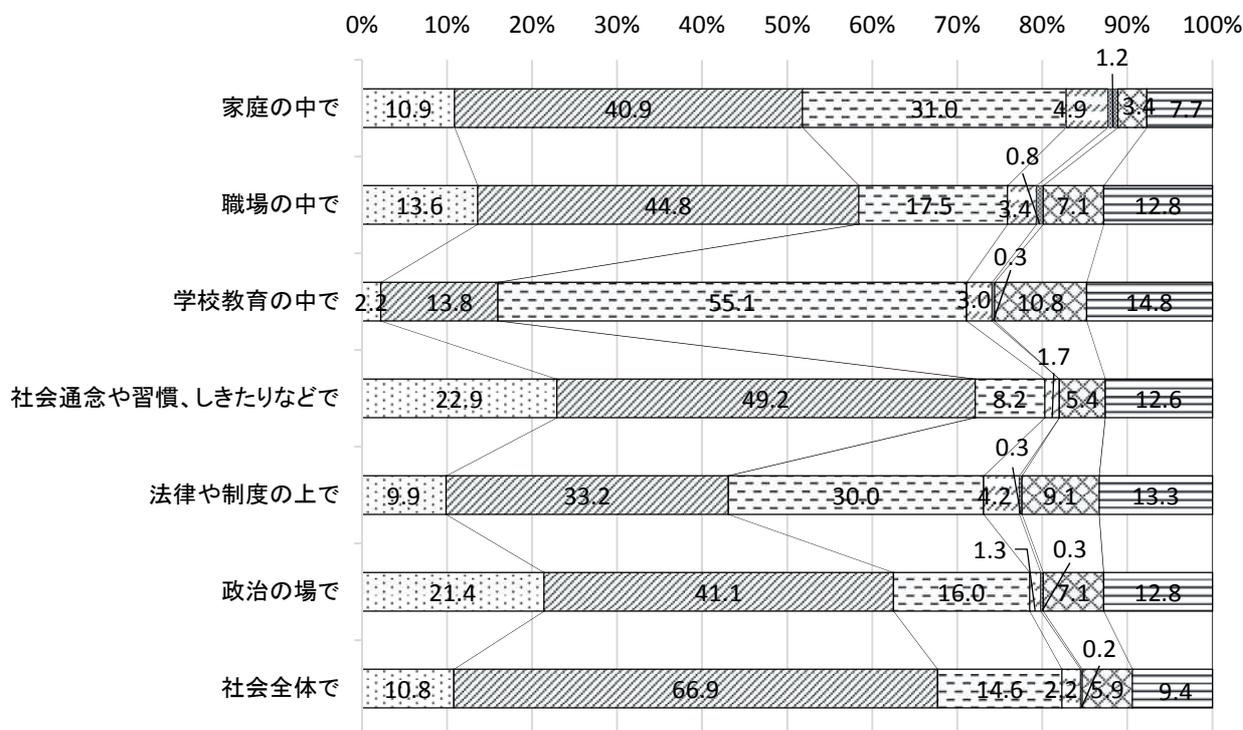
問2. あなたは、次にあげる分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。(それぞれの分野で〇は1つ)



## 平成15年男女の地位について

- 男性の方が優遇されている
- 平等
- 女性が優遇されている。
- 無回答
- ▨ どちらかと言えば男性が優遇されている
- ▨ どちらかといえば女性が優遇されている
- ▨ わからない

n = 594



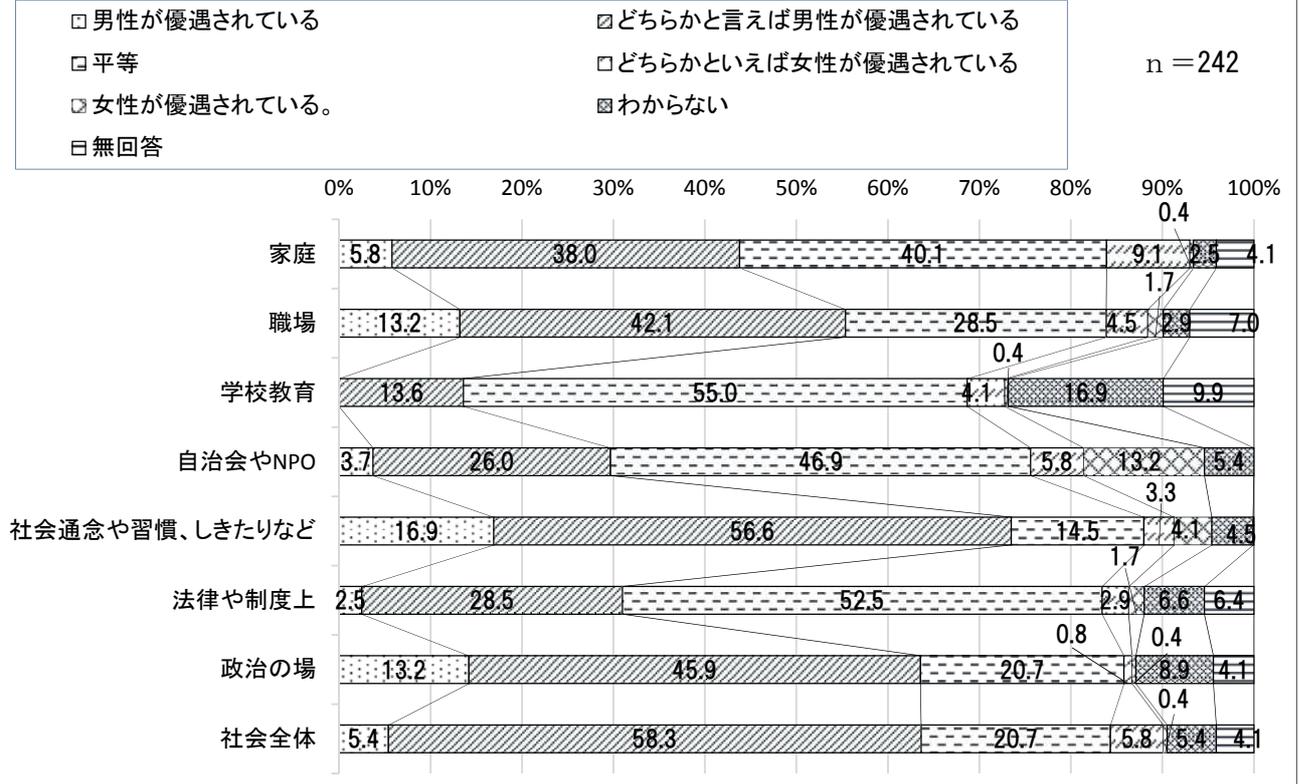
「男性が優遇されている（男性の方が非常に優遇されている＋どちらかと言えば男性の方が優遇されている）」と回答があった分野では、「社会通念や慣習、しきたりなどで」が、76.6%と一番多く、次いで「社会全体で」が71.5%となっています。

「女性が優遇されている（女性の方が非常に優遇されている＋どちらかと言えば女性の方が優遇されている）」と回答があった分野では、「学校教育の中で」が22.7%と一番高いものの、各分野で「男性の方が優遇されている」と答えた割合が高くなっています。

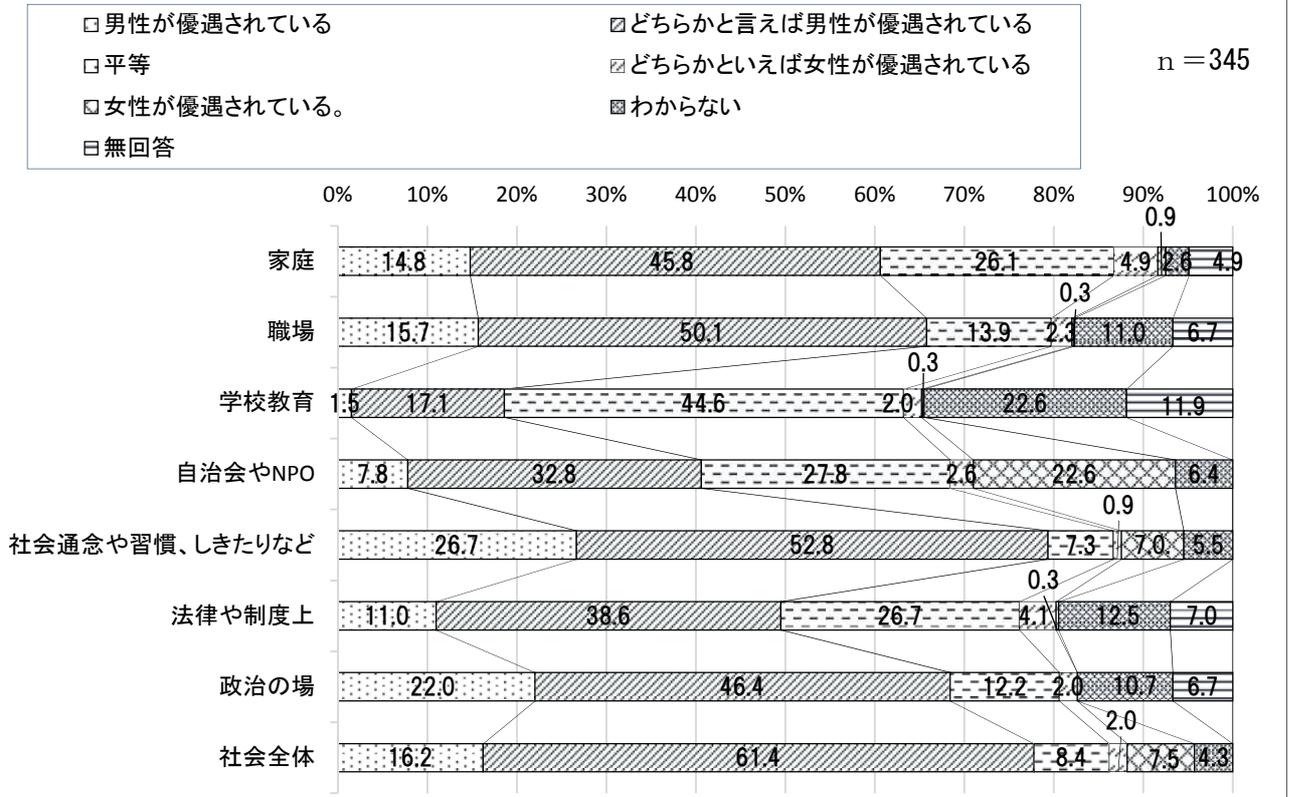
一方、「平等」と回答した人の割合が高いのが、「法律や制度上」が37.1%と一番高く、次いで「学校教育の場で」35.3%、「自治会やNPOなど地域の場で」35.3%となっています。

前回（平成15年）と比較すると、すべての分野において平等と答えた人の割合は、増加しています。

## 男性



## 女性



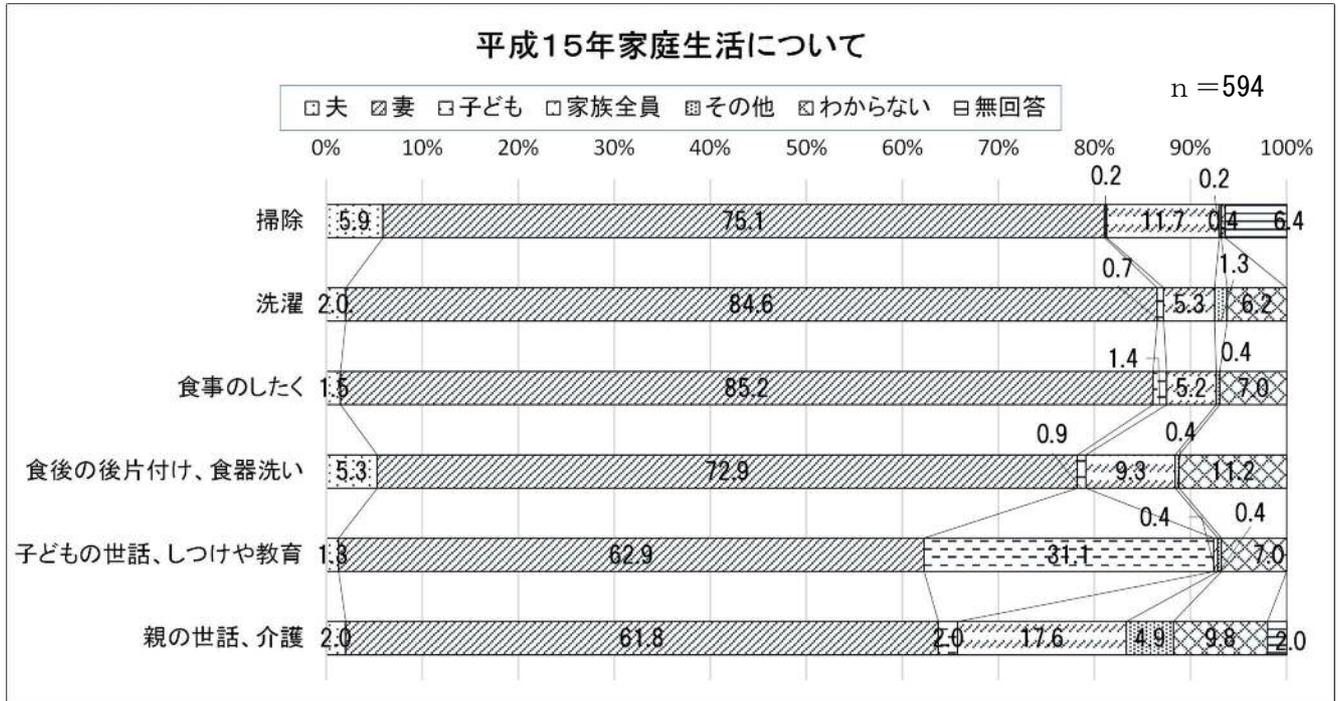
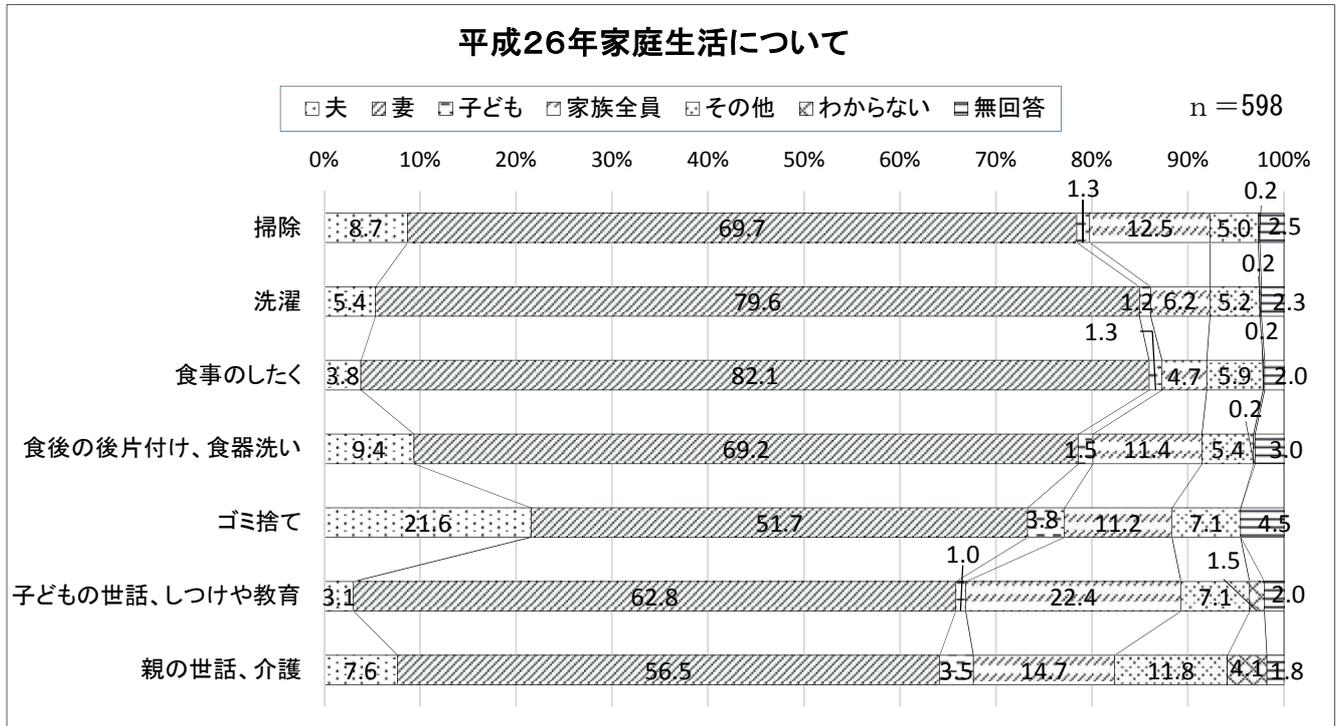
男女別で比較すると、すべての分野において「平等」と答えた人の割合が、男性より女性の方が低くなっています。

また、男性に比べ女性の方が「男性が優遇されている（男性の方が非常に優遇されている＋どちらかと言えば男性の方が優遇されている）」と回答した人の占める割合が高くなっています。

## 2. 家庭生活について

問3. あなたの家庭では、次にあげる家事を主に誰がしていますか。

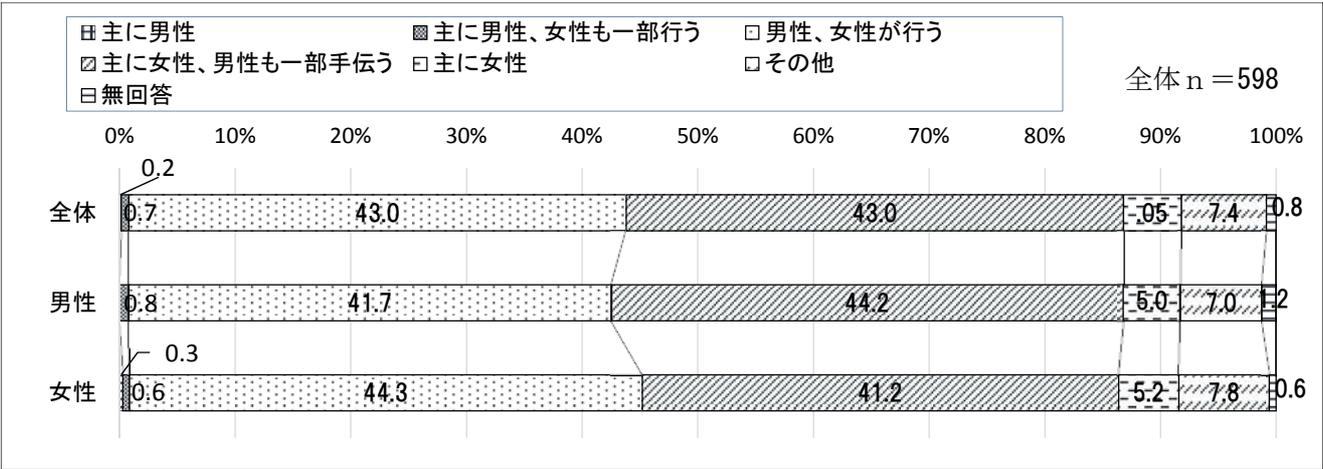
(それぞれの分野で○は1つ)



家庭生活における家事を誰がしているか聞いたところ、全ての分野において、「妻」と答えた割合が高くなっています。

前回調査（平成15年）時と比較すると、全ての分野において僅かではありますが、「夫」と答えた人の割合は、増加しています。

問4. 家事（掃除・洗濯・食事の支度・食事の後片付け等）は、どのように行うべきだと思いますか。（○は1つ）

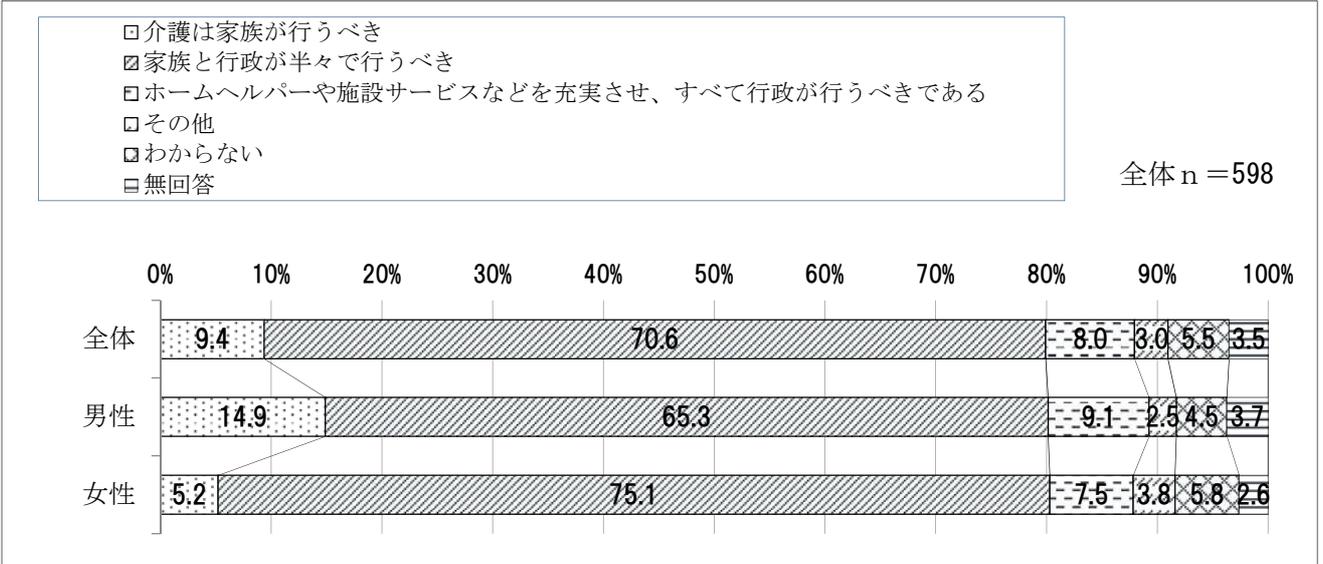


家事について、全体では「男性、女性が分け合って行う」、「主に女性が行い、男性も一部手伝う」が共に43%となっています。

その他欄特記事項（36件）

- ・できる人がやればよい（40代～60代男性 4件、20代～70代女性 16件）
- ・個々の家庭の状況に応じて考える（20代～80代男性 7件、30代～60代女性 6件）
- ・子どもと一緒にいる（50代 女性）
- ・特に決めることではない（70代 男性）
- ・誰がやってもよい（60代 男性）

問5. あなたは、介護について、どのように行うべきだと思いますか。（○は1つ）

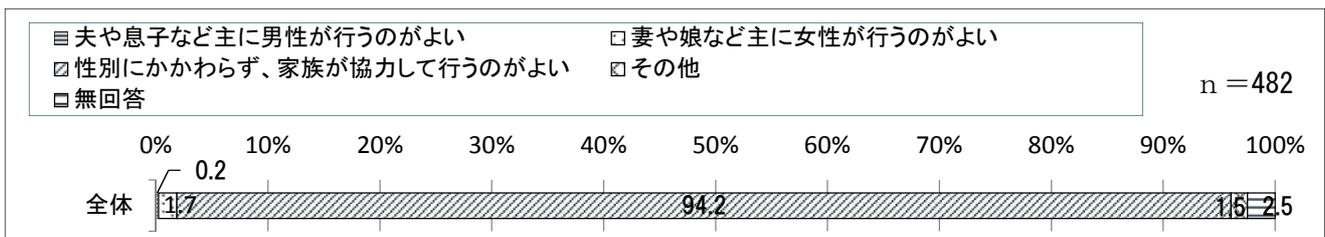


介護について、全体では、「家族と行政が半々で行うべき」が70.6%と一番高く、次いで「介護は家族が行うべき」が9.4%となっています。  
男女別でも、「家族と行政が半々で行うべき」と答えた人が一番多くなっています。

### その他欄記載事項 (18件)

- ・福祉サービスを利用し家族に負担がかからないようにする (30代 女性)
- ・ホームヘルパーや施設を充実させ、家族と行政が行う (70代 男性)
- ・ケースバイケース (60代 女性)
- ・その人に合わせて家庭と行政が行う (40代 女性)
- ・出来る家族は、家族で、できない場合は行政で行う (50代 男性)
- ・介護を受ける人の気持ちを優先させる (50代 女性)
- ・時々、デイサービスやショートを利用する (60代 女性)
- ・家族で協力し、ヘルパーや施設サービスなども利用する (年齢、性別不明)
- ・家の環境に応じて違う (30代 女性、40代 男性)
- ・出来るだけ家族が行うのが理想。ホームヘルパー施設などサービスを利用するのにお金がかかる。(30代 女性)
- ・その時の状況による (60代 女性)
- ・家庭によって異なり、男女は関係ない (30代 男性)
- ・行政サービスを使いつつ家族の負担にならないような介護を行う (30代 女性)
- ・高額な介護保険を支払っているのだから大半は行政が行うべきで、一部を家族が行う (70代 男性)
- ・家庭の収入、仕事の有無等で全く別になる (60代 女性)
- ・家族が行える場合は家族で、行えない場合は行政、または、有料の施設で (60代 女性)
- ・家族が協力すべきであるが、本当に困った場合はホームヘルパーなどの助けが必要であると思う (70代 男性)

問5-1. (問5で「1. 介護は家族が行うべきである」「2. 家族と行政が半々で行うべきである」と答えた方にお伺いします。家族の介護について、主にどなたが行うのがよいと考えますか。(○は1つ)

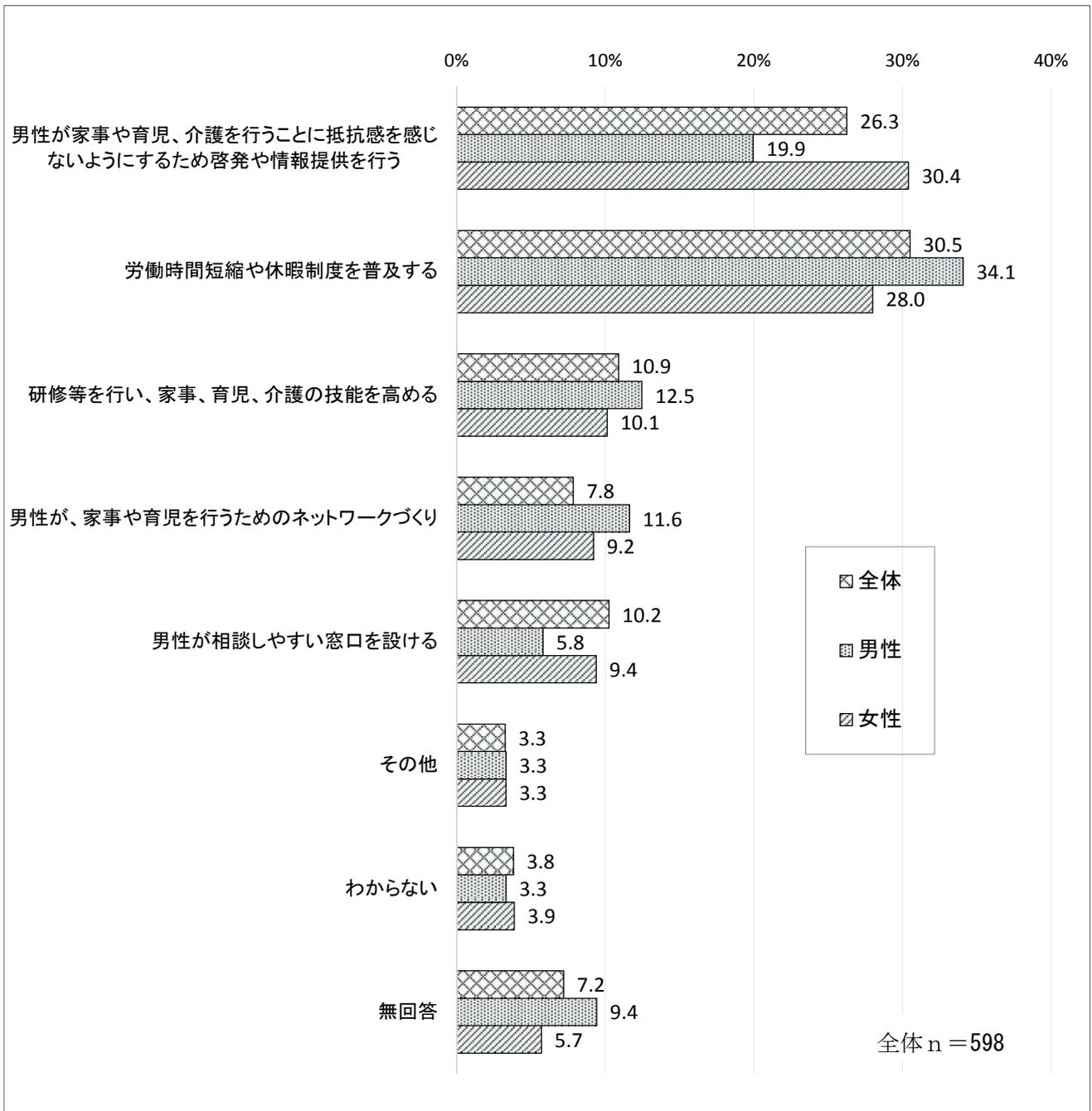


家族の介護は、誰が行うのがよいか聞いたところ、94.2%の人が、「性別にかかわらず、家族が協力して行うのがよい」と答えています。

### その他特記事項 (7件)

- ・実子がやるべきである (夫が妻任せにしない) (40代 女性)
- ・嫁 (80代 女性)
- ・近くに家族がいれば家族、いない場合は、行政 (60代 男性)
- ・同性による介護がよい (70代 男性)
- ・血縁家族 (50代 女性)
- ・家庭で見れない時間帯は行政で行う (20代 男性)
- ・家族で介護し、施設サービスをうまく活用すべきだと思う (40代 男性)

問6. 男性が家事や育児、介護に十分関わられるようにするためには、どのようにすればよいと思いますか。(〇は2つまで)



男性が家事や育児、介護に十分関わられるようにするためには、どのようにすればよいと思うか聞いたところ、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする」が30.5%と一番多く、次いで「男性が家事や育児、介護を行うことに男性、女性ともに抵抗感を感じないようするため啓発や情報提供を行う」が、26.3%となっています。

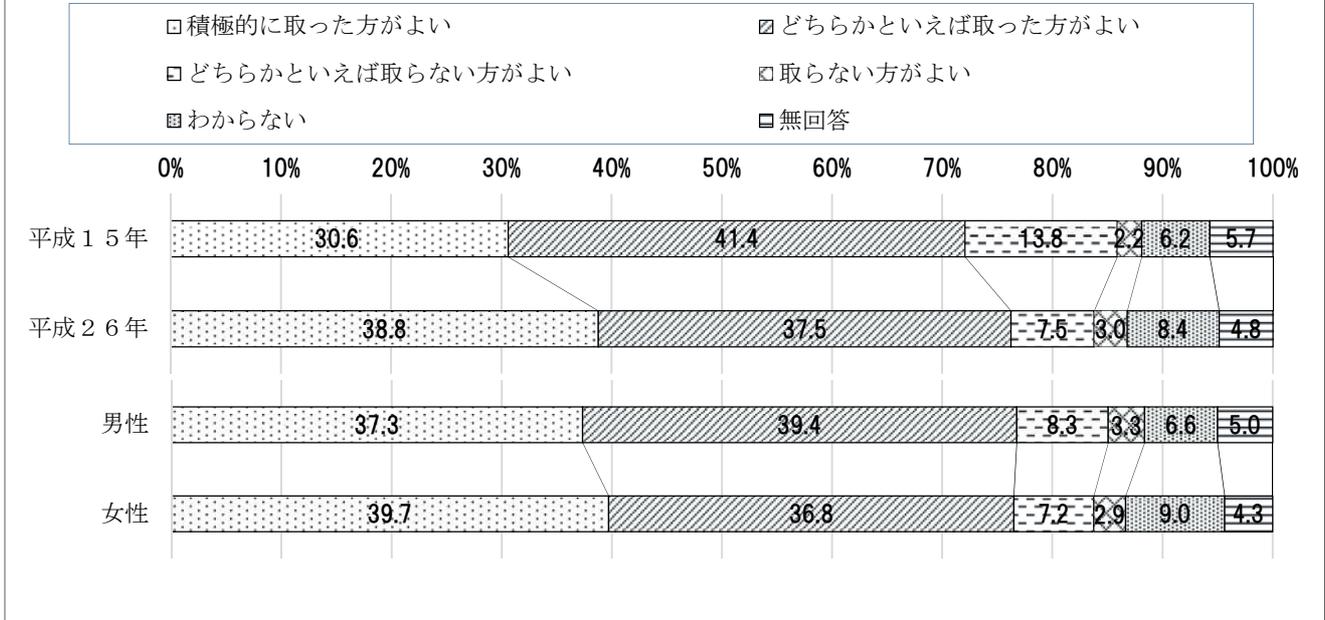
男女別に見ると、男性では、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする」が34.1%と一番高くなっていますが、女性では「男性が家事や育児、介護を行うことに男性、女性ともに抵抗感を感じないようするため啓発や情報提供を行う」が、30.4%と一番高くなっています。

## その他欄特記事項（25件）

- ・本人の気持ち次第（30代 女性）
- ・必要となればできると思う（50代 男性）
- ・会社の理解、経営者の考え方を变える（60代 男性）
- ・経済的な援助制度（20代 女性）
- ・男性が家事をするという意識改革（50代 女性）
- ・仕事に余裕が持てればできる（50代 男性）
- ・休暇制度が普及しつつあるが、まだまだ休暇が取りにくい（50代 男性）
- ・体力、気力、収入が十分にあればよい（70代 男性）
- ・何が問題であるかを家族で十分話し合いをし、それぞれができることを分担して行う  
(60代 女性)
- ・男性は休日に手伝う（60代 女性）
- ・共働きが多いので手の空いている方がする（70代 男性）
- ・育児・介護休暇を取りやすくするため会社の風潮を高める（60代 女性）
- ・家族で話し合い助け合う（70代 男性）
- ・男性自身が自分も行うものとする考えを持つことが大事（70代 女性）
- ・企業も休暇制度等を設けて、意識改革（社会全体）の必要性を感じる（30代 女性）
- ・職場の理解が必要（40代 女性）
- ・家族で話し合って考える、行政に甘えすぎない（60代 女性）
- ・男性自身の気持ちが一番でその気持ちさえあれば特にセミナーなど行わなくても関わってくれと思う（40代 女性）
- ・専門技術職の場合、技術者の代替性を完備する必要がある（60代 男性）
- ・行政サービスの充実（30代 女性）
- ・人権教育を学校の中でしっかり実践する（50代 男性）
- ・学校教育の中に介護の実習を取り入れるべき（体験学習）お年寄になればどんな感じか体験させる（60代 女性）
- ・家族でできる場合は良いが、息子一人の場合等一人で介護するのは無理。仕事を辞めるわけにはいかないのです。そういうところの問題を解決できればいいなと思う（60代 女性）
- ・ケースバイケースですが家族が思いやりを持って共に取り組めばうまくいくと思う  
(70代 女性)
- ・育児・介護休業をもっと取得しやすいような制度を作ること（60代 男性）

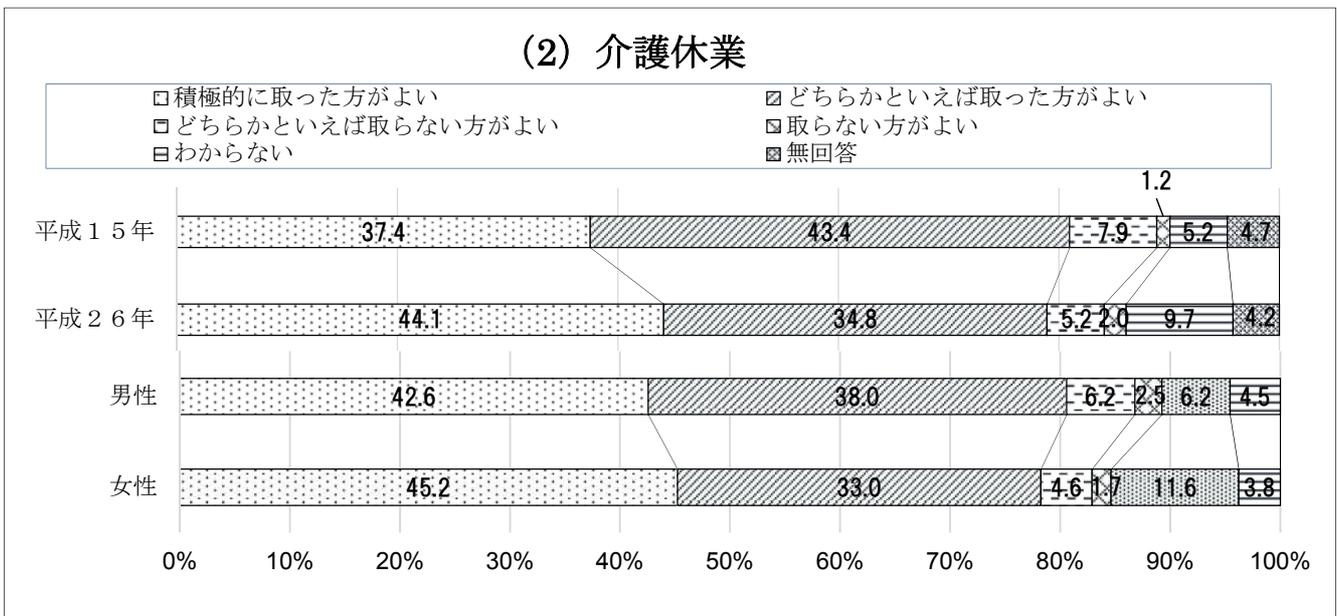
問7. 育児や家族介護を行うために、育児休業や介護休業を取得できる制度があります。この制度を活用して、男性が育児休業や介護休業を取ることに、あなたはどのように思いますか。(1)、(2)それぞれ○は1つ。

### (1) 育児休業



育児休業については、「取った方がよい（積極的に取った方がよい+どちらかといえば取った方がよい）」とする人の割合が、76.3%となり、前回（平成15年）71.7%に比べ増加しています。

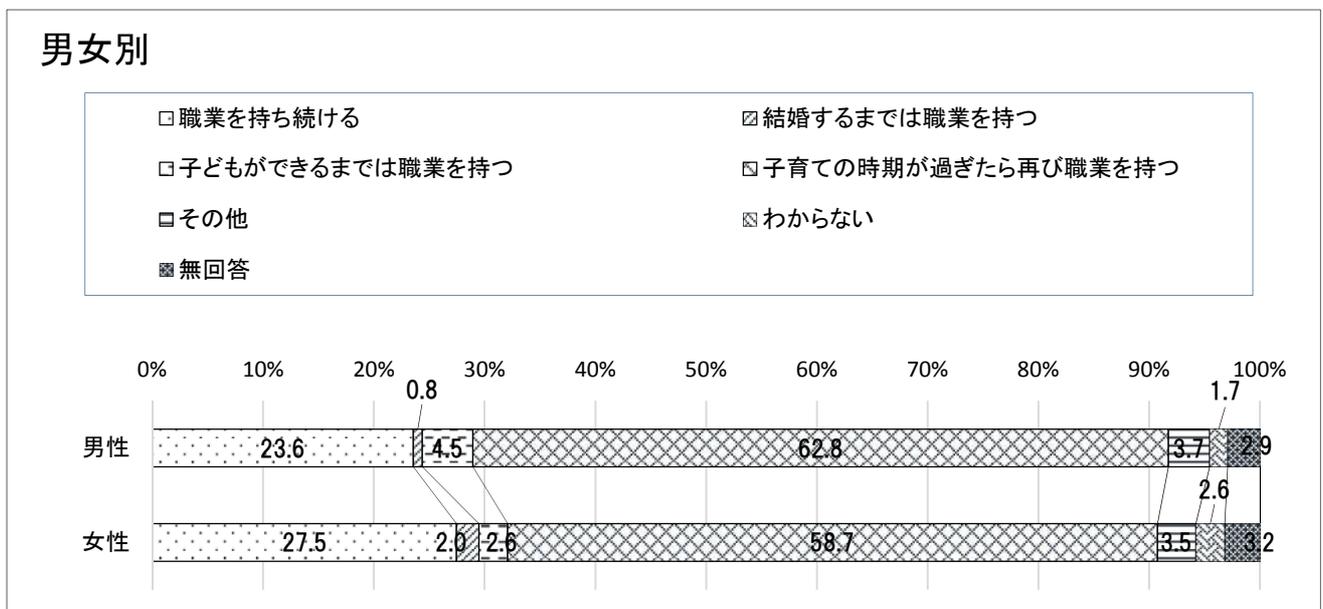
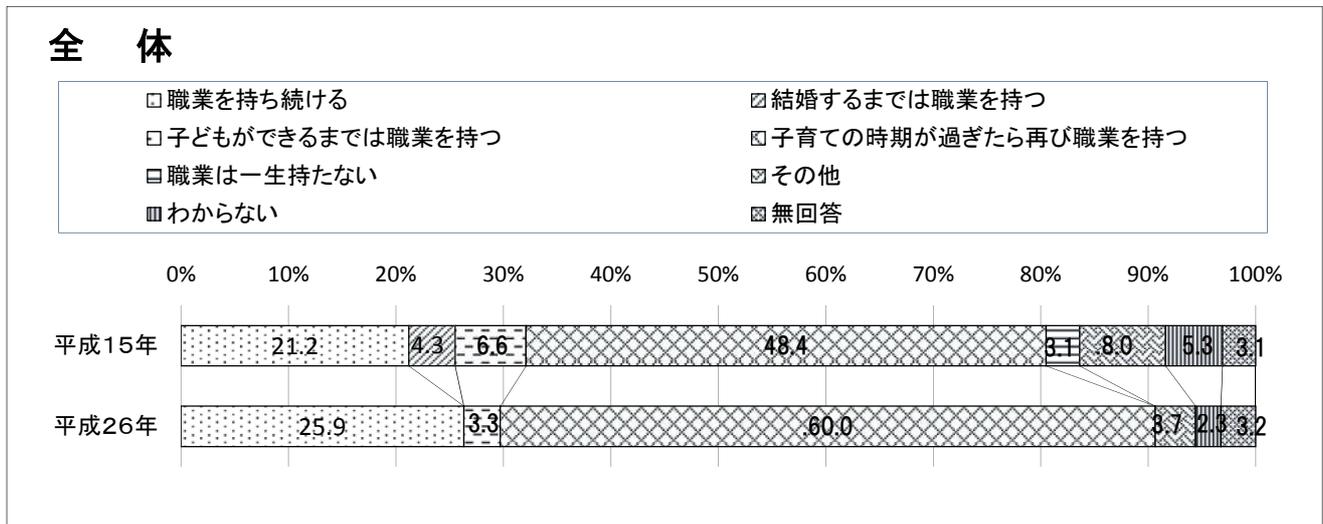
### (2) 介護休業



介護休業については、「積極的に取った方がよい」と答えた人の割合が44.1%で、前回（平成15年）37.4%に比べて増加しています。

### 3. 就労・職業について

問8. 女性に職業への関わり方について、あなたはどのような形がもっとも望ましいと思いますか。(〇は1つ)

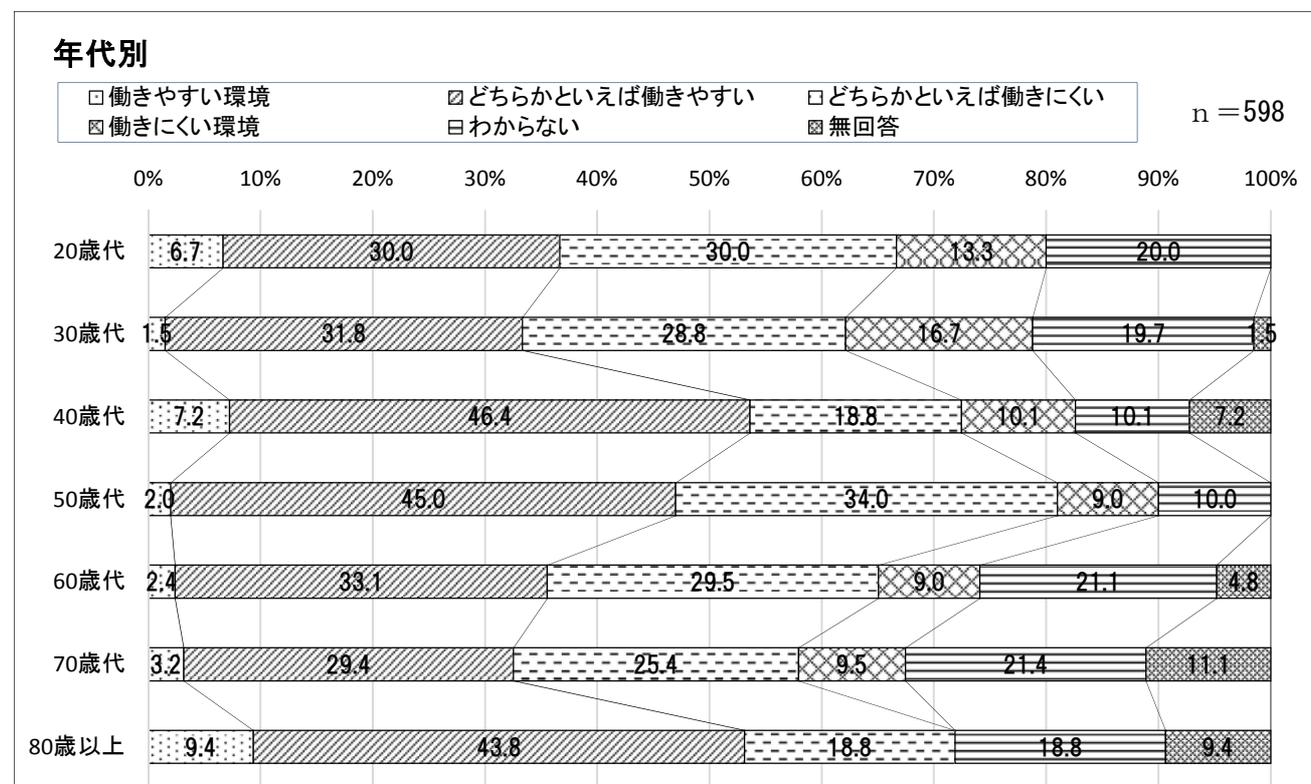
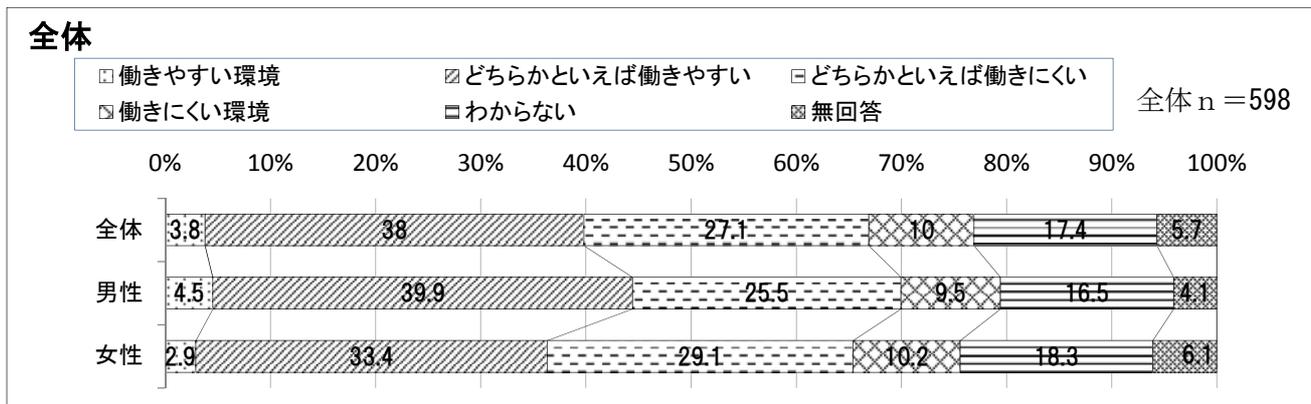


女性が職業を持つことについては、「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」が、60%を占め一番高く、次いで「結婚や子どもの有無にかかわらず、職業を持ち続ける」が、25.9%となっています。

前回（平成15年）と比較すると、「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」が、48.4%→60%と大幅に増えています。また、「結婚や子どもの有無にかかわらず、職業を持ち続ける」が、21.2%→25.9%と、増加しています。

性別でも、男女共に「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」と答えた人の割合が、一番高くなっています。

問9. 働きたいと思う女性にとって、現在は、働きやすい環境であると思いますか。  
(○は1つ)



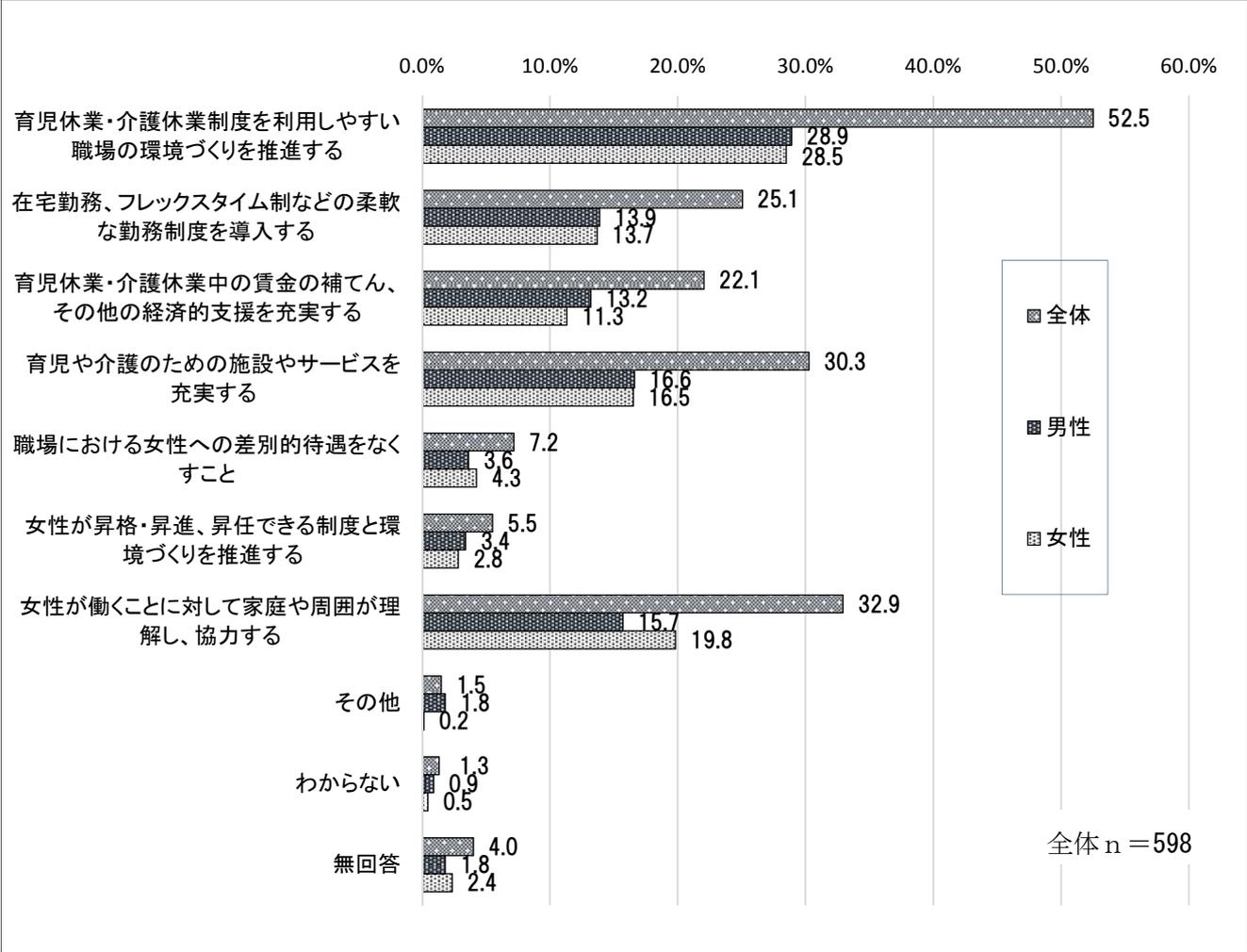
女性が働きやすい環境であるかについて、全体では、「どちらかといえば働きやすい環境であると思う」と回答した人の割合が38%と一番高く、次いで「どちらかといえば働きにくい環境である」が、27.1%となっています。

男女別では、男性で「働きやすい環境である」「どちらかといえば働きやすい環境であると思う」と回答した人の割合が44.4%と高くなっていますが、女性では、「働きにくい環境である」「どちらかといえば働きにくい環境である」と回答した人の割合の方が、39.3%と高くなっています。

年代別に見ると、「働きやすい（働きやすい+どちらかといえば働きやすい）」と回答した人の割合が、40歳代で一番高く、53.6%となっています。次いで80歳代53.2%、50歳代47%となっています。

一方、「働きにくい（働きにくい+どちらかといえば働きにくい）」と回答した人の割合が、30歳代で一番高く、45.5%となっています。次いで、20歳代43.3%、50歳代43%となっています。

問10. 女性が、出産、子育て、介護などの理由で仕事を辞めずに働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)



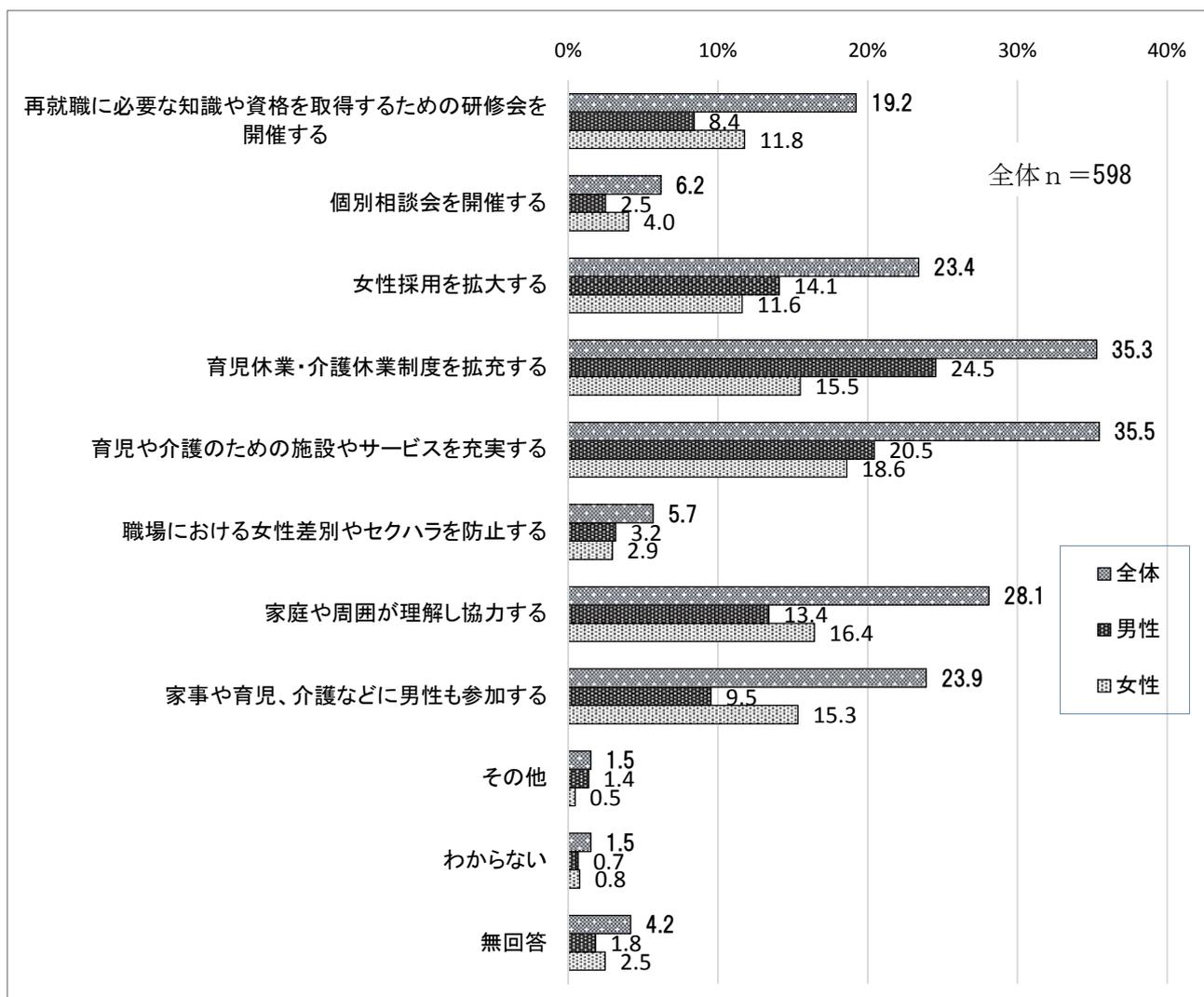
女性が、仕事を辞めずに働き続けるには、どのようなことが必要かと聞いたところ、「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場の環境づくりを推進する」と回答した割合が、52.5%と一番高く、次いで「女性が働くことに対して家庭や周囲が理解し、協力する」が32.9%となっています。

男女別で見ると、男女とも「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場の環境づくりを推進する」が一番高く、男性28.9%、女性28.5%と差はほとんどありませんが、「女性が働くことに対して家庭や周囲が理解し、協力する」と回答した人の割合が、男性が15.7%、女性が19.8%と、開きがあります。

**その他欄記載事項 (7件)**

- ・名張は、働き場所、社会の状態、経済状態が悪すぎる (60代 男性)
- ・事業者が多子化の方針を社内に具体的にアピールする (70代 男性)
- ・勤務形態を柔軟にする。パートになった後、正社員に復帰できる制度 (20代 男性)
- ・長期育児休業を可能にする (70代 男性)
- ・代替え、補充の制度の充実 (60代 男性)
- ・公務員と同様の環境や保証を一般企業にも当てはめる (60代 男性)
- ・男性(夫)の職場が理解と協力 (30代 女性)

問 1 1. 出産、子育て、介護などの理由で退職した女性が再就職するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つ)



女性が再就職するためには、どのようなことが必要だと思うか聞いたところ、「育児や介護のための施設やサービスを充実する」が35.5%で一番高く、次いで「育児休業・介護休業制度を充実する」が35.3%となっています。

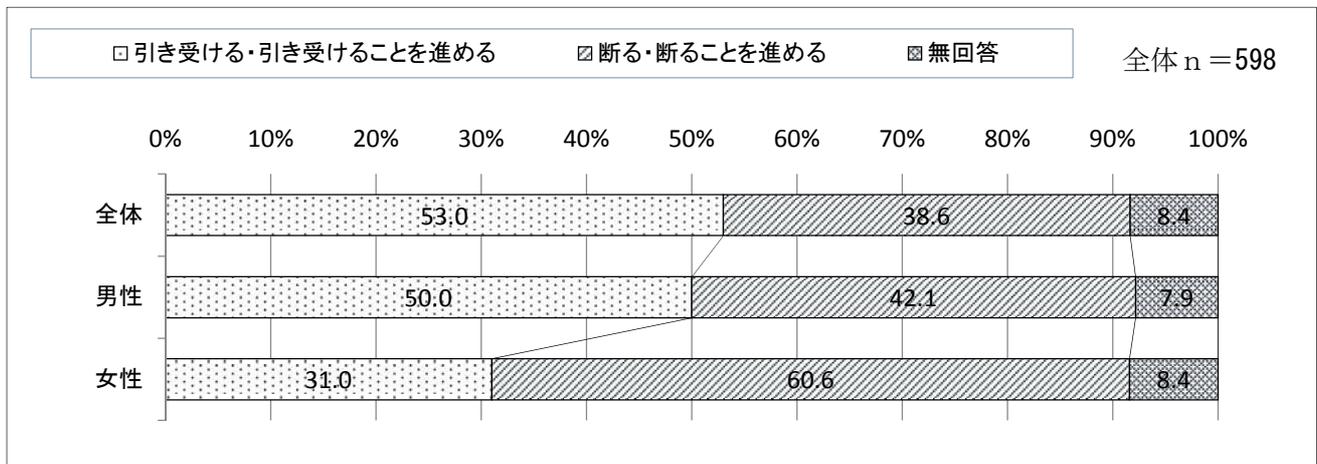
男女別で比較すると、男性は、「育児や介護のための施設やサービスを充実する」が24.5%で一番高くなっていますが、女性では、「育児休業・介護休業制度を充実する」が18.6%で一番高くなっています。

### その他欄記載事項 (8件)

- ・ 選択するもの以外の問題ではないのか？まずレベルを上げてから問うべき (60代 男性)
- ・ 子育てや介護を行っている女性は時間を有効に使うことができるので、企業が積極的に採用していく (30代 女性)
- ・ 退職ではなく、一時休職制度を復職するための法制度にする (60代 男性)
- ・ 自己努力ですればよい (20代 男性、70代 女性)
- ・ 労働時間の自由化、急な休みへの対応 (50代 女性)
- ・ 女性に家庭と職場は別物だという認識を持ってもらう (60代 男性)

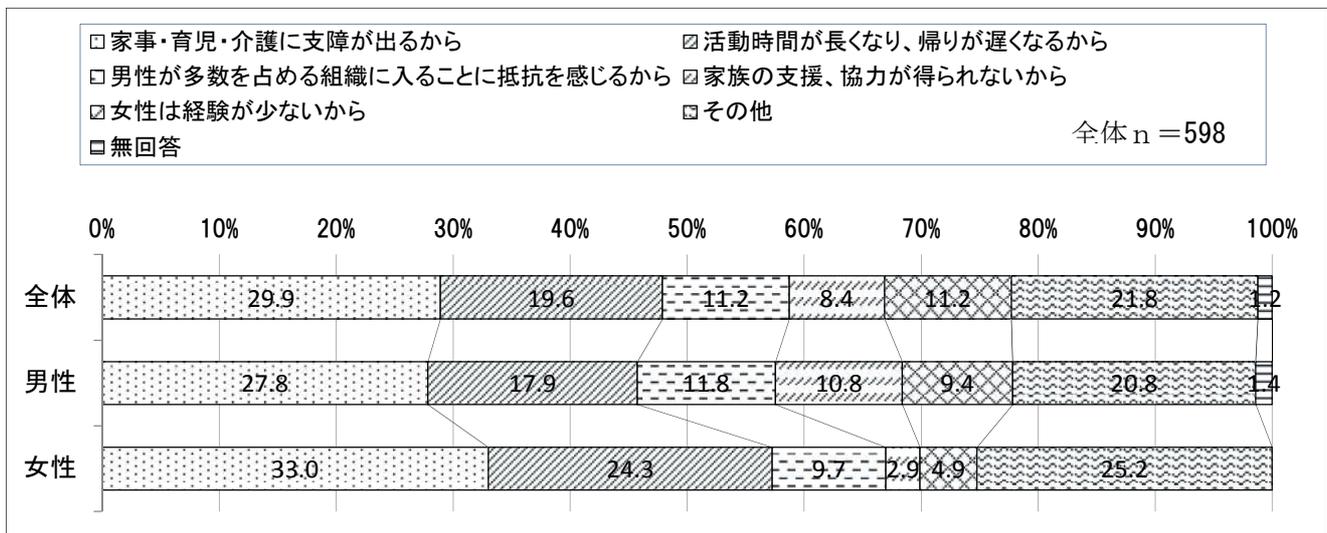
#### 4. 女性の社会参画について

問12. 地域づくり組織、自治会長やPTA会長などの役職に、女性の方はあなた自身が、男性の方はあなたの妻などの身近な女性が推薦されたとしたら、あなたはどうしますか。  
(○は1つ)



女性の社会参画について聞いたところ、「引き受ける・引き受けることをすすめる」と答えた人が53%と半数以上を占めています。しかし、男女別に見ると、男性では、50%の人が、「引き受ける・引き受けることをすすめる」と回答していますが、女性では、「断る・断ることをすすめる」が60.6%となっており、男女別で異なります。

問13. (問12で「断る・断ることをすすめる」と答えた方にお聞きします。) その理由は、何ですか。(○は1つ)



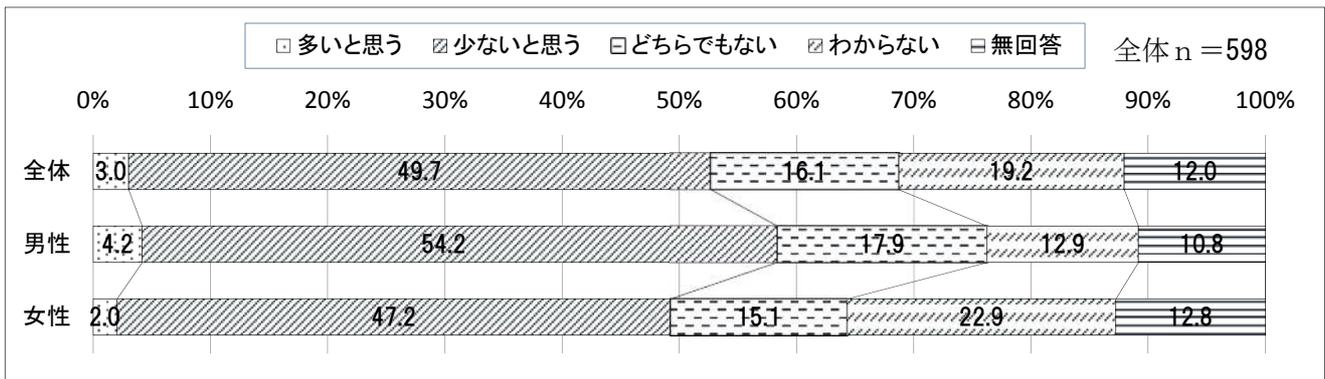
「断る・断ることをすすめる」と答えた人に理由を聞くと、全体では、「家事・育児・介護に支障が出るから」が、29.9%と一番高く、次いで「その他」21.8%となっています。

男女別では、「家事・育児・介護に支障が出るから」、「女性は経験が少ないから」と答えた人の割合は、男性より女性の方が、高くなっています。

## その他欄特記事項 (70件)

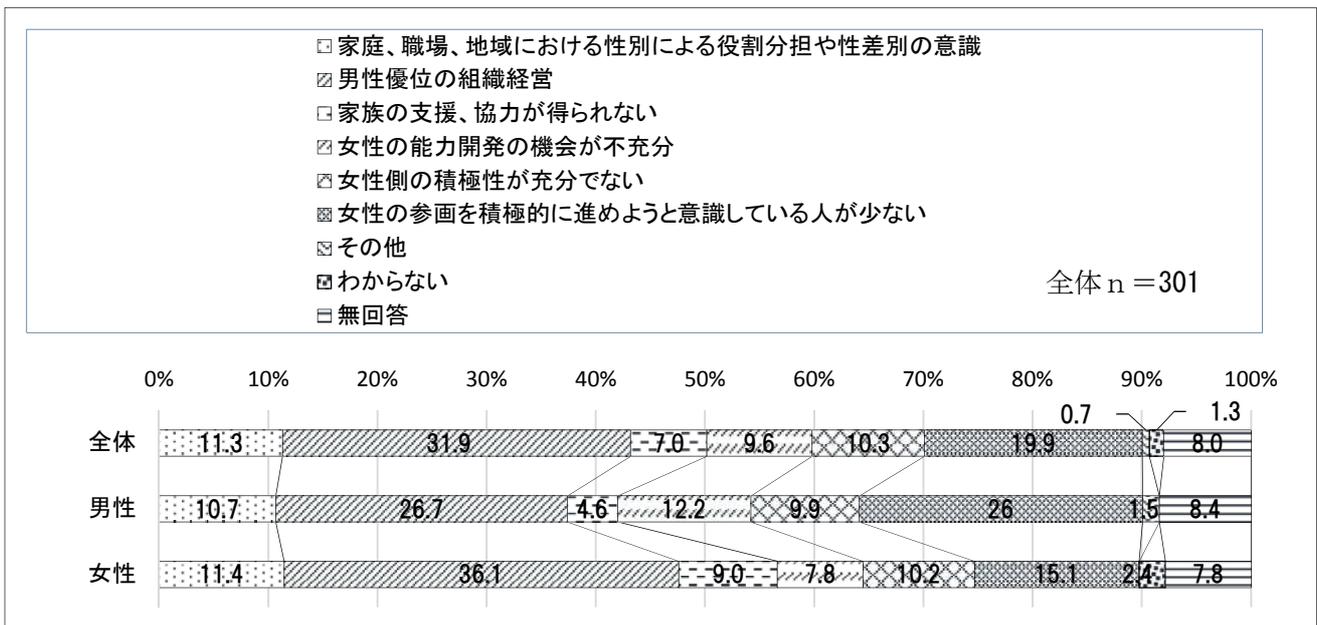
- ・病気療養の為 (40代 女性)
- ・出席する行事が多すぎる (60代 女性)
- ・今の形では少数の者に責任と負担が集中するから (40代 男性)
- ・現在役を引き受けている人を見ていると、トラブルや時間的なことで家族が巻き込まれているから (70代 女性)
- ・年齢的、体力的に無理がある (60代 女性)
- ・名張は、女性が活躍できる状態にない (60代 男性)
- ・仕事をしながらの一人暮らしなので負担が大きい (60代 女性)
- ・自分自身もやりたくない (70代 男性)
- ・仕事が多忙すぎるため (30代 女性2件、50代 女性、60代 女性、70代 男性)
- ・健康上の問題 (50代 男性、50代 女性、80代 男性)
- ・子どもが幼少の為 (30代 女性)
- ・仕事、家事など今が精一杯で余裕がない (50代 男性)
- ・家庭の時間を大切にしたいから (20代 男性)
- ・自治会費を遊びに使い自治会としての意味がない (70代 女性)
- ・自分自身が適切でない (30代 女性、50代 女性2件、60代 女性4件、70代 女性)
- ・女性に対し男性が理由もなく非協力的になるから (50代 女性)
- ・時間に余裕がない (30代 女性、50代 女性)
- ・他に適任者がいると思うから (70代 女性)
- ・難しい、能力がないと思うから (50代 男性、70代 男性、60代 女性2件)
- ・身体的理由 (50代~80代 男性5件、60代~80代 女性5件)
- ・向き不向きがあり好きな人がやればよい (60代 女性)
- ・煩わしい、自分自身そういう活動が好きでない (30代 女性、60代 女性、60代 男性)
- ・基本的には本人の意思にまかせるが、面倒な事が多そうなので勧めない  
(30代 男性、60代 男性)
- ・トップに立って、みんなをまとめていくようなことはできない (年齢性別不明)
- ・つまらぬ作業・事務が多く疲弊するから、やりがいがない (60代 男性)
- ・自分はやりたくないのので他の人にすすめられません (30代 女性)
- ・時間的に困難だと思うから (仕事をしていると会議やその他の行事の参加がある)  
(40代 女性)
- ・高齢者夫婦だけの場合夫の負担が重くなる (70代 男性)
- ・経験がなく責務を全うする自信がない (80代 女性)
- ・役員などして早退するとお金が減るので、ゆとり生活でない人にはかなり負担  
(40代 女性)
- ・負担が増すのは嫌だから (60代 女性)
- ・本人への負担増による身体への負担を感じる (40代 男性)
- ・男女に関係なく、そもそもやりたくない (60代 男性)
- ・何事も長 (リーダー) となる人は人格が必要 (質が大切) (60代 女性)
- ・地域内でのトラブルに巻き込まれやすいから。特に女性の間ではトラブルが多い  
(60代 男性)

問14. あなたは、政治・行政・事業所や地域において、政策等の方針決定の場への女性の参画についてどのように思われますか。(〇は1つ)



政治・行政・事業所や地域において、政策等の方針決定の場への女性の参画についてどう思うかについて聞いたところ、「少ないと思う」が49.7%で、次いで「わからない」が19.2%となりました。男女別では、「わからない」と答えた人の割合が、男性より女性の方が高くなっています。

問15. (問14. で「2. 少ないと思う」と答えた方にお伺いします。女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。(〇は1つ)



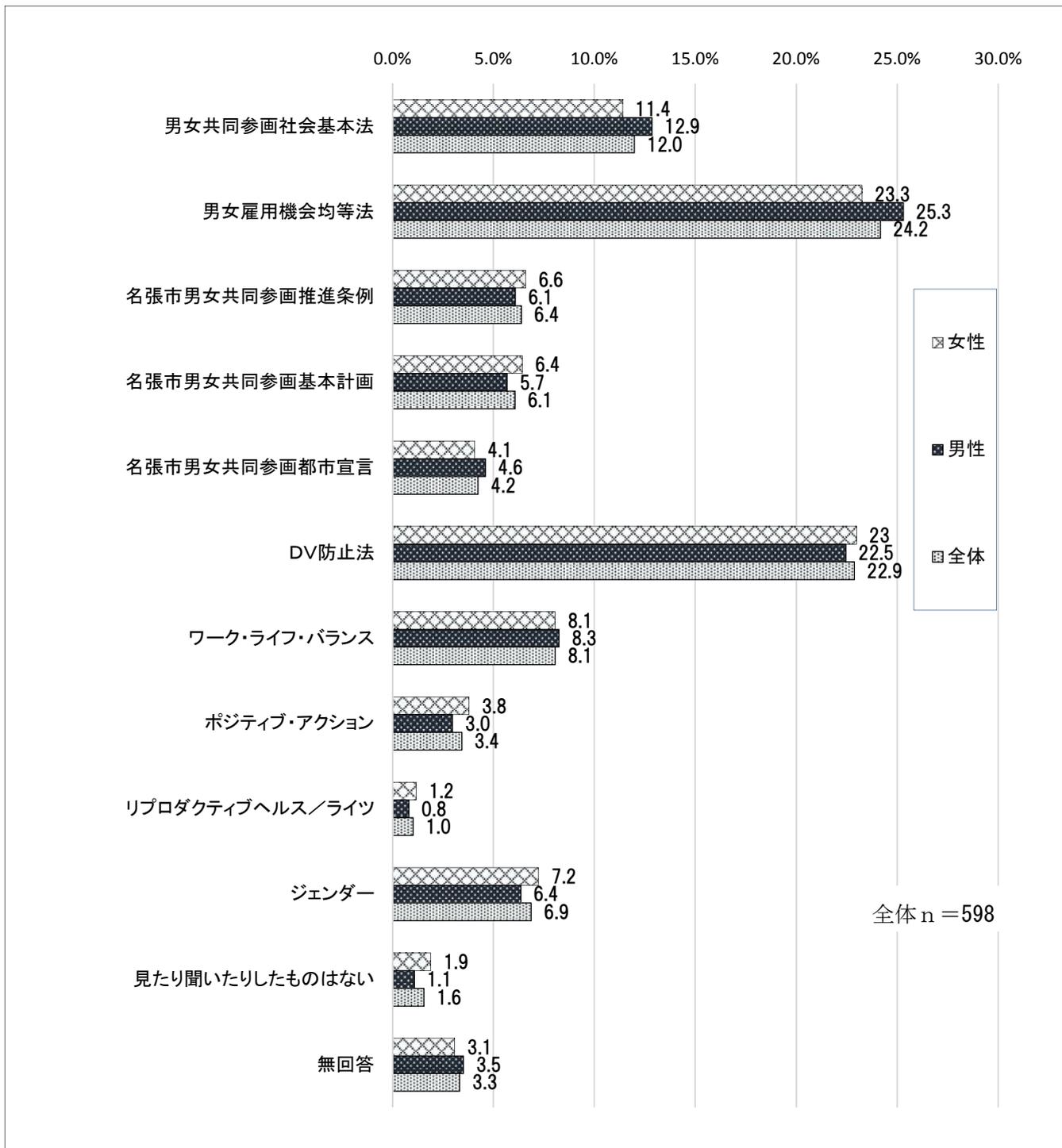
女性の参画が少ない理由を聞いたところ、全体では、「男性優位の組織経営」が31.9%と一番高く、次いで「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」が19.9%となっています。

男女別で見ると、男性は「男性優位の組織経営」が26.7%ですが、女性は36.1%と男性に比べ高くなっています。

その他欄記載事項 (件)

- ・市自体が基本的に考え直すべき (60代 男性)
- ・外出しにくい時間を設定している (40代 男性)

問16. 以下の言葉のうち、見たり聞いたりしたことがあるものすべてに○をつけてください。

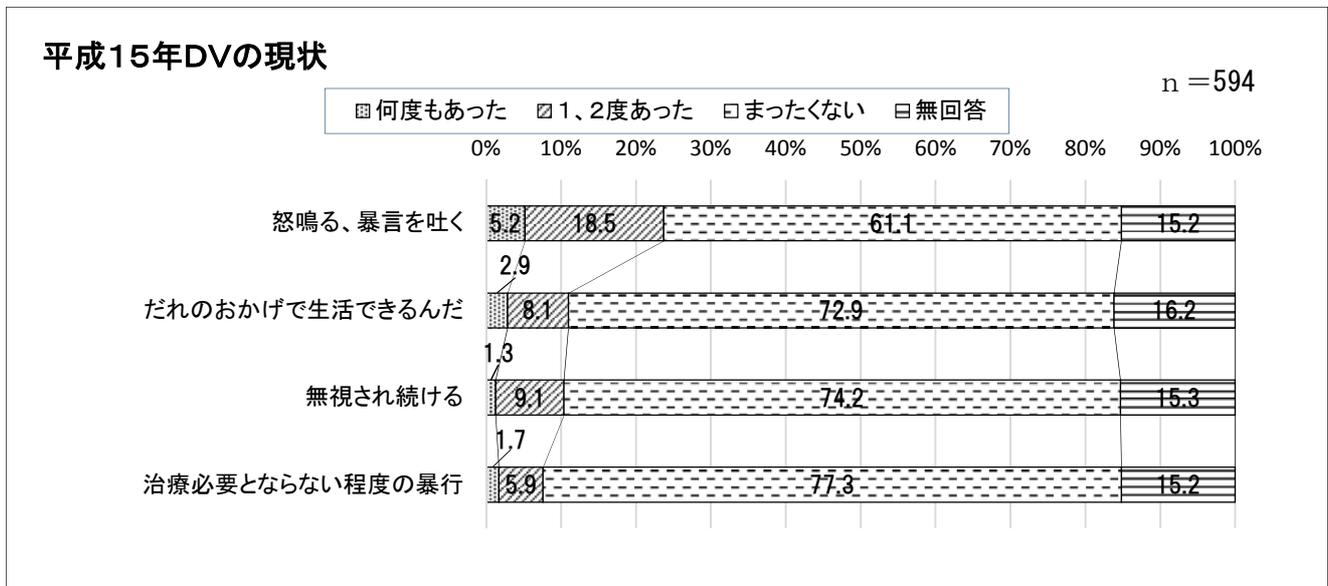
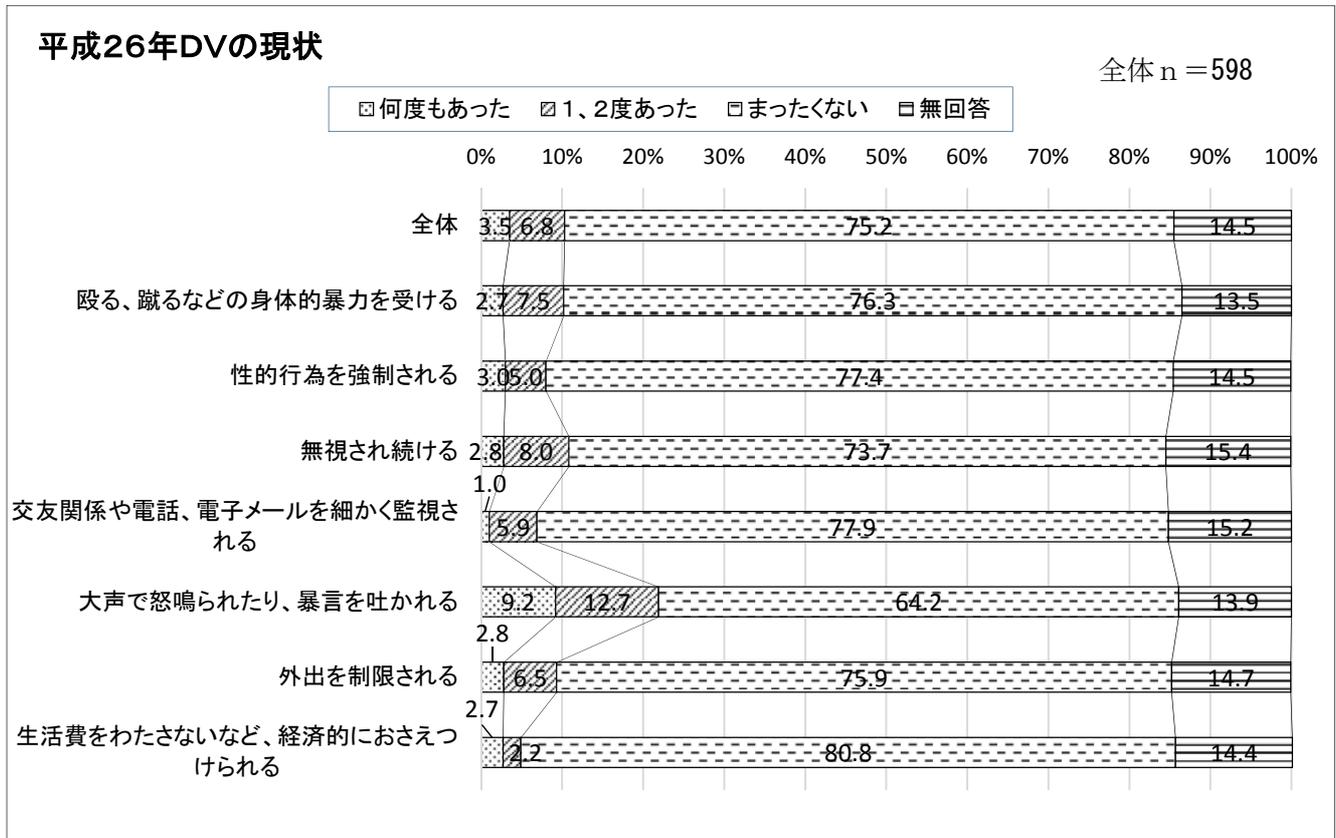


男女共同参画に関する用語の認知度については、「男女雇用機会均等法」が、24.2%と一番高く、次いで「DV防止法」が、22.9%となっています。

前回（平成15年）の調査では、「見たり聞いたりしたものはなし」「無回答」と回答した人の割合は、50%でしたが、今回の調査で「見たり聞いたりしたものはなし」「無回答」と回答した人の割合は、1割にも満たず、男女共同参画に関する認知度は、大きく増加していることが伺えます。

## 5. 男女の人権について

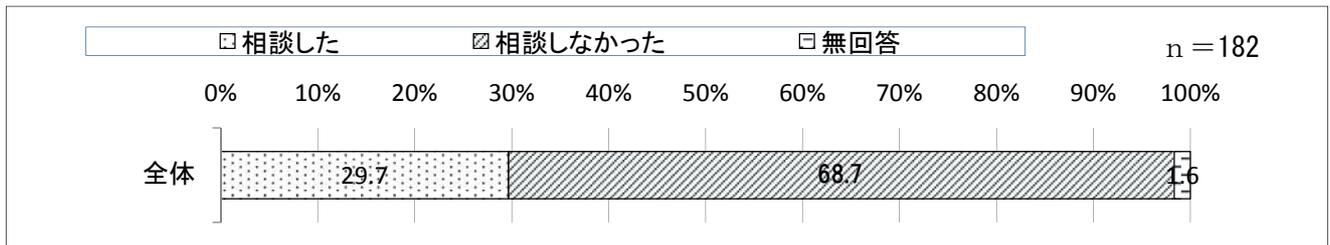
問17. あなたはこれまでに、配偶者や恋人から、次のようなことをされた経験がありますか。



配偶者や交際相手からDVを受けたことがあると回答した人（何どもあった＋1、2度あった）の割合は、10.3%となっています。

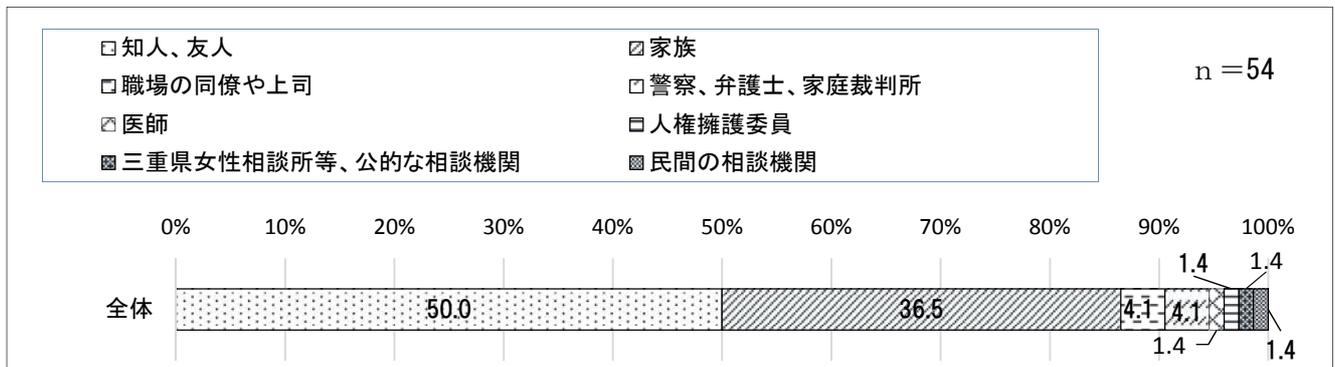
前回の調査（平成15年）と比較すると、全てにおいて（何どもあった＋1、2度あった）と回答した人の割合は、減少しています。

問18. (問17で1つでも「1. 何度もあった」、「2. 1、2度あった」と答えた方にお伺いします。あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。  
(○は1つ)



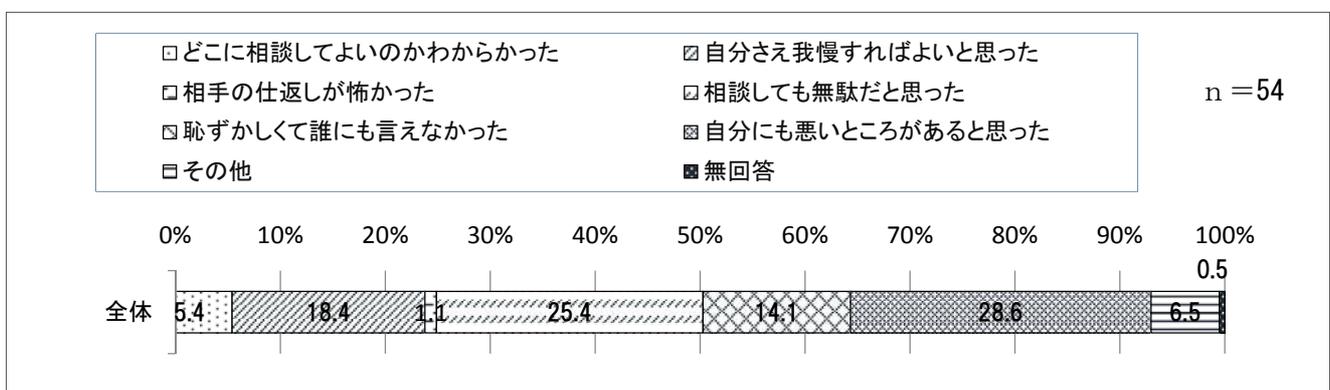
誰かに打ち明けたり、相談したりしたかと聞いたところ、「相談しなかった」が、68.7%と一番高くなっています。

問18-1. (問18で「1. 相談した」と答えた方にお伺いします。) 相談したのはどちらですか。(あてはまるものすべてに○)



相談先については、「知人、友人」が、50%と一番高く、次いで「家族」が36.5%となっています。

問18-2. (問18で「2. 相談しなかった」と答えた方にお伺いします。相談しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)



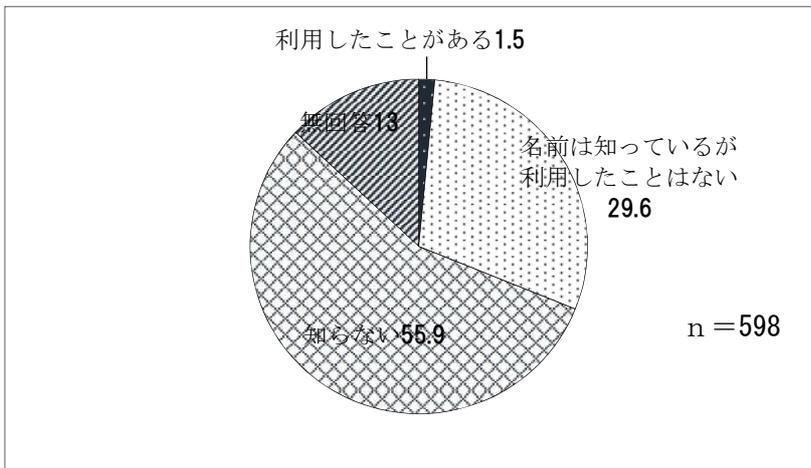
「自分にも悪いところがあると思った」が、28.6%と一番高く、次いで「相談しても無駄だと思った」が、25.4%となっています。

### その他欄特記事項 (11件)

- ・相談するほどの事ではないと思った (60代 女性)
- ・夫婦げんかで2、3日すれば収まる (70代 女性)
- ・同じように言い返す (70代 女性)
- ・喧嘩の中のことだったから (70代 女性)
- ・本心ではないと思った (50代 女性)
- ・酔っていただけ (30代 女性)
- ・相談するほどの問題ではないと思った (40代 男性)
- ・時が経つにつれて私も大声でどなったり、できるようになった (60代 女性)
- ・相手と話し合いをした (40代 女性)
- ・大事には至らず、自分で解決できた (60代 女性)
- ・自分も対等に好きなことを言う (60代 女性)

## 6. 「名張市男女参画センター」について

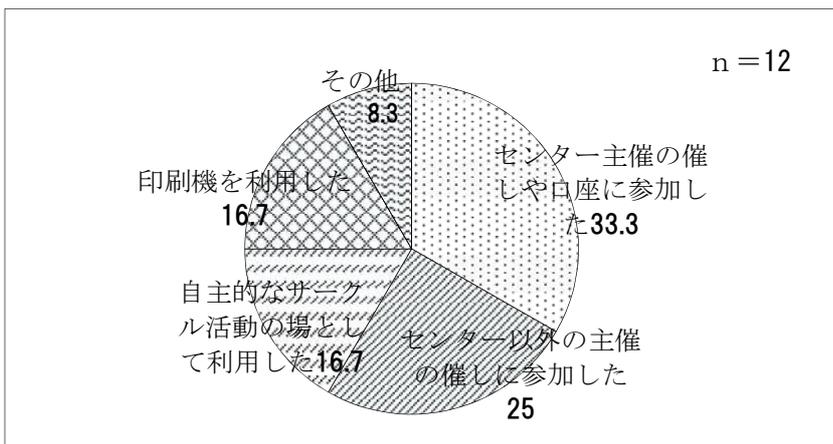
問19. あなたは、「名張市男女共同参画センター」をご存知ですか。



男女共同参画センターについて聞いたところ、「知らない」が56.9%と最も多く、次いで「名前は知っているが利用したことがない」が29.6%となっています。

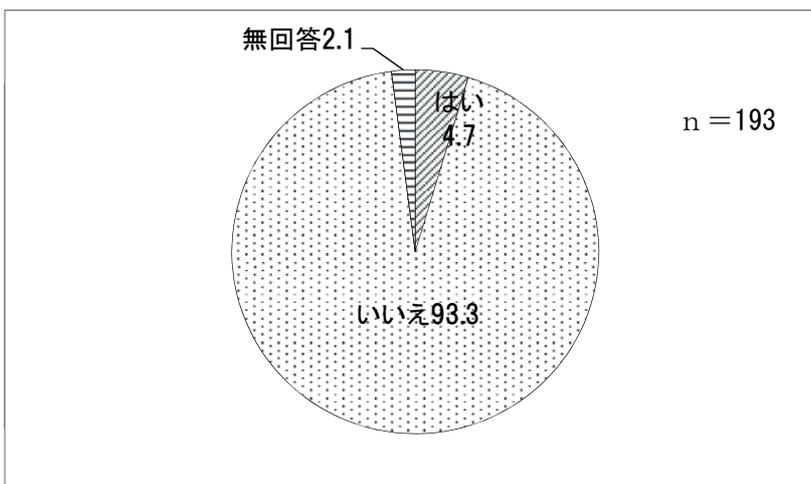
問20. (問19で「1. 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。あなたはどのようなかたちで「名張市男女共同参画センター」を利用しましたか。

(あてはまるものすべてに○)



「センター主催の催し物や講座に参加した」が33.3%と一番高く、次いで「センター以外の主催の催し物に参加した」が25%となっています。

問21. あなたは「名張市男女共同参画センター」のホームページをご覧になったことがありますか。(○は1つ)



名張市男女共同参画センターを知っている人にホームページを見たことがあるか聞いたところ、93.3%の人が、「いいえ」と答えています。

## 7. 男女共同参画に関する意見

- ・男女と言いながら、女性の地位が低いと決めつけ女性を優遇することばかり提唱されている。それでは男性の支持が得られない。女性が働きやすい環境づくりより子育てしやすい環境づくりの方が大事。(20代 男性)
- ・男女共同参画社会について他人事のように思っていた。何か行動を起こさなければいけないと改めて考えさせられた。(20代 女性)
- ・中小企業では育休制度が整っていないところが多く、退職せざるを得ない。また産後パートなどで再就職しても幼稚園は時間が短く、保育所は定員があり子どもを預ける場所の確保が難しい。また預けても発熱など急な時に対応できない。そういうことが改善され男女が平等に働ける社会になればいい。(20代 女性)
- ・男性が育児休業を取れることが理想であるが、現代社会では難しい。育児休業すれば、収入減になる。(30代 女性)
- ・男女共同参画という言葉は聞いたことがあったが、内容まで知らなかった。アンケートの結果を活かして市民に少しでも関心を持ってもらえるようにしてほしい。(30代 女性)
- ・家庭でも職場、社会でも男女関係なく合う合わない、できるできないの特性があり、男だから、女だからではなくできる人がしていけばよい。家庭においては、夫婦2人が築いていくものでやりやすい環境をお互い思いやりをもってすればよい。子供には優しくなってきたように思うがお年寄りへの優しさは足りない気がする。施設やサービス、保険料等の見直しが必要。助成として家庭や職場、社会の中で自分はどうありたいのかしっかり考え迷惑の掛からないようにやってほしい。(30代 女性)
- ・3歳未満の子が2人います。働き、保育所に子どもを入れたいのですが、周りに預ける知り合いはおらず、実家、義実家は遠いです。働く場所が決まっていないと保育所には入所できず、働き口の面接では保育所が決まっていないと面接さえしてくれない企業が多いです。実家の農家を手伝っている人や知り合いの会社に働いているように書類を書いてもらっている人が多数います。(実際には働いていないのに)働いて保育所を利用したい人はもっとたくさんいるはずです。ちゃんと働いているのか、もう少しチェックを厳しくし、公平にするべきだと思います。(30代 女性)
- ・まだまだ男性の力が強い世の中だと思う。(30代 女性)
- ・共同とか平等とかの前に世の中の見直しが必要だと思う。(30代 女性)
- ・共働きで子育てをしていますが、夫の帰宅時間がかなり遅く平日の育児の協力は全く期待できません。サービス残業がほとんどでボーナスもなく深夜まで働く日もあります。女性ばかりが子育てをするのではなく、男性も一緒に参加できるような環境作りが大切だと思います。そのためには、もっと企業に対して男性も育児に参加できる時間に家へ帰れる制度を積極的に取り入れてもらう様、指導をしていただきたいです。(30代 女性)
- ・男女関係なく努力する者が上に立つのは必要。出産、育児のハンディーはあるものの過度な女性への保護は不要。男女共同参画という名のもとに、女性優遇はいかがなもの？税金のムダ、ムダ、ムダ。(30代 男性)
- ・女性の職業への関わり方について：結婚しても職業は持ち続ける。子供を出産後、育児休業を取って職場復帰をするのが理想であるが、子どものことを考えて仕事を辞めるのも1つの考え。(30代 女性)

- ・まだまだ男性が優位だと思えることがたびたびあります。反対に女性が優位だと思えることもあります。(30代 女性)
- ・名張市における現状が分かりません。パーセンテージ等。どう平等でないか。今後開始前から何がどう良くなり、どう効果が表れ、そのことにどのくらいのコストがかかったなどの評価が名張市全体として見られることを望みます。(30代 男性)
- ・子育て世代の主婦が勤めることに対して、職場も社会もだいぶ理解し、できる限りのことをしてくれていると感じています。しかし、家庭内では女性は家事や育児をするものであり、外で働く必要はないと古い考え方をもち姑や夫がおり、理解や協力を得るのはかなり難しいと感じています。家事、育児、仕事を一人でするのはとても大変で、でも助けを求めると仕事を辞めさせられると思い、何とか頑張らないといけなないと思いつつ日々頑張っています。もっともっと女性が社会で活躍できるようにしてほしいと思います。  
(30代 女性)
- ・少子化の中でもっと妊婦に対して、育児に対して手厚い援助がなければ、名張市自体の子供がもっともっと減少していくと思います。住みにくい市だと思う。外から見ると内は違っていた。(40代 女性)
- ・育児休業を取れない空気が、職場や社会的にある。(40代 男性)
- ・男女とも意識を変えていく必要がある。家事をしない男性を作っているのは女性かもしれない。男性も育児に積極的にかかると、今まで見えなかった新しいものが見えてきて楽しいと思う。家事も同じ。大変さばかり強調されがちであるが、楽しく、自分のためになることを情報発信したらよい。(40代 女性)
- ・男女は基本的に平等ではない。女性は、子どもを産み育てる大きな役目がある以上男女がお互いを思いやる気持ちや尊敬の念をもって尊重しあうもので、どちらかが、平等でないというのはおかしい。よいところを伸ばしていけばよい。男にしかできないこと、女にしかできないことがあるのに、何でもかんでも平等にというのはおかしい。(40代 女性)
- ・男女平等は、社会構築の原則であり、大切なことだと思います。男女差別はあってはならないが「区別」がないと上手く構築できません。より良い「男女共同参画」の社会が発展されるよう、今回のアンケートデータを基として、より広く、深く、個々の意見を傾聴していただきますよう、センターの存在感をアピールしてください。(40代 男性)
- ・育休・介護休暇について：家庭の事情によって変わるが必要であるならば積極的にとったらよい。PTA等の会長について：その個人が適しているならば、引き受けることをすすめる。(40代 男性)
- ・問6に対して：各家の問題で、家の中で話し合い、決める 自由記述：男女ともに出来る出来ないこと、いろいろあると思います。自分のできることを責任をもって行っていけばよいと思います。子育てに関しては、男女とも平等であるが、全体の仕組みは全く違うため同じようにはいかないと思います。男の考え方、女の考え方より意見交換を行う必要があると思います。また、子育てに関して、行政ばかりを頼りにするのではなく、自分たちの親を頼りにすることも大切であると思います。隣の人に見てもらおうなど地域として子供を育てていく必要があると思います。核家族の弊害がいじめや引きこもりを引き起こしていると考えています。(40代 女性)
- ・学校教育の中で、男女共同参画の考えを教えていく必要がある。(50代 女性)
- ・この世に生まれた人は、男女皆平等であると思う。個人差はあるが、男性、女性のみで決めつけないで適材適所で働くことがよいと思う。(50代 男性)

- ・何もかも平等とはいかないが、人権を守ってほしい。(50代 男性)
- ・広報を毎月見ているが、男女共同参画を意識して読んでいなかった。HPを閲覧したいと思う。(50代 女性)
- ・男女共同参画の言葉を聞いて何年にもなるが、国策として推進している割には、システムが確立されていない。まだまだ認識、認知が低い。国民性、民族性の問題が多少ある。地道に推進する人がいればよい。(50代 男性)
- ・問7-2について：介護に関しては、先が読めないで期間の決められた休業では無理だと思う。(50代 女性)
- ・男女平等とはいえ、男と女では根本的、肉体的に違うので無理がある。(50代 女性)
- ・名張市の男女共同参画条例・計画・宣言は何にのっているのですか？もっと推進していく必要があると思います。(50代 男性)
- ・女性差別撤廃条約の批准をおこなう際に、日本では「男女共同参画」という言葉が生まれた。もともとは、女性差別の撤廃が目的である。よってこの言葉に惑わされずに女性差別をなくす取り組みを進める必要がある。(50代 男性)
- ・女性昇格・昇進・昇任できる制度に男女差があるかどうかは知らないが、あるのなら間違っている。意識がそもそもおかしい。(50代 女性)
- ・女性が社会に出やすくするための休業法や、勤務制度があっても、周りの方々の働かれる姿勢で取得しにくいことが殆どだと思います。私自身以前勤めていたところで（パートタイマー）体の不調のため勤務を短くしてほしいと伝えたところ、「ほかの従業員に迷惑がかかる！」と言われました。会社も人件費節約のため、最低人数での求人募集しかかけませんし、求人をかけても応募も来ない状態が多くみられるのも雇用の待遇が悪いことの理由だと思います。大阪に住んでいる息子が、20歳で二人目の子供ができるため、自分の強い要望で産休を2か月とりました。親として「大丈夫？」と心配しましたが、きっとその職場では同じように産休を取られたご主人がいるらしく、そういう情報を聞いていたのだと思います。自分だけが特別という意識と感ぜずに導入されている制度を取得しやすい職場環境、また、幅広く女性を雇用して預ける受け皿を持つ企業、会社、団体が増えてほしいと思います。(50代 女性)
- ・男性優位社会が根強くある。初等教育から男女共同参画について教えていってはどうか。  
(50代 男性)
- ・育休について：取りたい人はとればよいと思う。その人の考え方、かかわり方の問題だ。  
(50代 女性)
- ・義務教育時の教育を強化する必要がある。(60代 男性)
- ・基本計画の知名度が全くない。日本で初めて市の議員を男女半々にして、意識改革を図る。(60代 男性)
- ・人任せではなく、自分が勇気をもって自分自身を変える事も大事。(60代 女性)
- ・男女共同参画という言葉が最近耳にするようになったが、言葉だけが先行しているように思う。特に名張は、まだまだ遅れていると思う。サークル等に参加しているが、会議では女性の意見が採用されない。(人数は女性の方が多い) (60代 女性)
- ・名張市は、遅れている。働く場所、近代化、地方性、名張の政治体制、市長を含む政治家の能力の低さ、大阪のベットタウンとしてのみの能力の低さ、もう少し他市のように積極的な行動による改善が必要。(60代 男性)
- ・小さいころからの教育が必要。(60代 男性)

- ・早く男女が同じ立場で仕事や家事が出来る様になれば良い。(60代 男性)
- ・元気で、経済的余裕があれば地域の仕事も男性と同じようにできると思う。意識としては参加していきたいが、体のこと生活の事、そろってこそ考えられる問題だと思う。  
(60代 女性)
- ・どの職場においても暴言は許されないものだと思います。上司から人権を無視されるような発言を受け、眠れず交通事故を起こした。研修を積んでほしい。(60代 女性)
- ・夫婦で参加できる催しを多く企画してほしい。(60代 男性)
- ・最近の投票率の低下から、全体的に他人、地域等への関心が希薄になっている。自己中心的になっており、地域全体で楽しめるようなレジャー施設があればよい。(60代 男性)
- ・DVに近いことがあったが、部屋を別にすることで気が楽になった。(60代 女性)
- ・名張市男女共同参画(推進条例、基本計画、都市宣言等)をもっと市民に啓発すべき。  
(60代 男性)
- ・男女共同参画という言葉が先行するもその実状は今一つ。1日も早く実現できるよう国民全ての意識の高揚が望まれる。まず行政の取り組みが前提。(60代 女性)
- ・男女共同参画を数字だけで揃えようとするのはおかしい。自然となるもので、データだけで結論づけるのではなく本質を見つめるべき。(60代 女性)
- ・格差社会、差はあっても仕方がないが、子育てできる社会の実現が先ではないのか。  
(60代 男性)
- ・公共機関、大企業では管理職に女性を登用することが多くなってきてはいるが、まだまだ男性中心の体制。地域社会でもまだまだ男性中心の社会が根強く残っている。名張市は街づくり組織を中心に行っていることは大変良いことだと思うが、その中心は男性で、女性の意見を発信しにくい。(60代 女性)
- ・現在の活動の在り方が、一般に普及していないように思われるが、将来についての活動は、一考の余地があるので、原点に戻って立て直しをし、多くの市民によりわかりやすく参画できるようにしてください。※もっと平たく考えると良いアイデアが生まれるのでは？うまくまとめようとせず、どろくさくまとめると良いと思います。(60代 男性)
- ・もっと女性が参加できるよう環境づくりをお願いします。(60代 女性)
- ・介護について：すべて行政が行うのではなく、家庭にいるときは家族がしてもよい。  
(60代 女性)
- ・公務員は優遇されているとは言いませんが、一般企業・商店との温度差が大きいと思います。(60代 男性)
- ・60歳以上の男性は、まだまだ女性の仕事を男はしないし手伝う気持ちがあっても自らする気持ちはない。手伝うことは、してあげたという気持ちが強く、特別なことをしたので感謝されて当たり前と思っている。女の側からすると、えらそうにされてまでしてほしくない。腹が立つけど自分でやった方が後味が悪いよりましだと思う。定年ぐらいになると、妻を自分の部下に言うような言い方をする夫が多いのではないのでしょうか。妻は夫の部下ではありません。これも差別です。(60代 女性)
- ・家事・育児・仕事等基本的に出来る人が出来る時に、男女老若に関係なく行うのがいいと考えます。(60代 女性)
- ・次期計画策定の参考とありますが、育児、介護等の手助け可能な地域環境づくりが必要ではないのでしょうか？(60代の人材を活用) (60代 男性)

- ・男女を差別するのは論外だが、一定割合を男性・女性というのも問題あり。あくまで男女の機会均等で考えるべきと思う。(60代 男性)
- ・男女共同参画に関して、これまで何を、どんなことをしてきたのか全く分からない。基本計画そのものがどんな内容なのか知っている人は少ないと思われます。従って、このようなアンケートを実施するのは税金の無駄遣いと思われて仕方ない。男女共同参画社会の実現に向けては、これまでの社会通念や習慣、しきたりなどをぶち壊す必要があり、頭の固い大人には難しいところがある。従って、幼いときから教育が必要であり、学校教育での指導が重要となってくると思われる。当該参画推進室が、これまで何をやってきたか全く目に見えてこない。公務員の身分でこのような計画を推進するのは無理があり、民間に委託して、民間の知恵やノウハウを活用したほうが合理的である。(60代 男性)
- ・現・男女共同参画については全く分からない。男女平等に人として助け合い、愛し合い、互いの長所を認め尊敬して、今、自分のできることを一所懸命にし、働くことが大切。(70代 女性)
- ・男女の身体的特徴はあるが、それぞれ認め合って働き続ける。(70代 女性)
- ・男女は相談してお互いに、自信を持つこと。(70代 男性)
- ・体へのDVは、証拠が残るが、言葉のDVは、体へ何も残らず精神的なダメージが大きい。いつも言葉で苦しめられている。(70代 女性)
- ・男性優位の社会構成が厳然としているので、女性の社会進出が困難である。(70代 男性)
- ・女性は、結婚し専業主婦となり子育てに努力し、男性は外で働き給料をアップし安心できる社会生活制度にしてほしい。専業主婦が最低の職業と言う人たちが理解できない。(70代 女性)
- ・男性、女性の性差を上手く生かしながらの男女共同参画だと思う。男性優位社会の中、男性がこの言葉についていけない。地域活動に女性が参画することでしっかりするところがあると思う。(70代 女性)
- ・男女共同参画の問題は男性側の問題。男性が家事、育児、介護等「してやっている。」という意識を変えなければ平等にならない。男性は、自分が稼いでやっている等女性を見下した意識を変えていくべき。(70代 女性)
- ・男女共同参画の前に男女とも精神的な面で今日までの意識改革に対し自覚と責任を強く持つことが出来ればよし。それも感じないままに男女共同参画が先行すれば勝手な人格ができ家族、夫婦崩壊にもつながる可能性がある。(70代 男性)
- ・アンケートを読み自分たちの生活環境を考えさせられました。よい勉強になりました。(70代 女性)
- ・何でもかんでも男女負担が半々では、男性が長生きできないのではないか。(70代 男性)
- ・社会の環境づくりとそれぞれの意識を改める事。男性側の意識改革も必要だが、女性側の積極性や意識改革も必要。男女同じ事をするのではなく、男として得意なこと女として得意なことを分担し、それぞれがその価値観を共有することが必要。(70代 男性)
- ・もっと噛み砕いて説明がほしい。(70代 男性)
- ・男女のお互いの知らないことを教え合いともにいくのがよいと思う。(70代 女性)
- ・現在、男女格差が顕著なのは企業ではないだろうか。総合職があるとはいえ、能力のある女性を十分活用していない。行政から企業への働きかけが大切。(80代 女性)

- ・広報等を通じて具体的な説明が必要と思います。(80代 男性)
- ・もっと男女共同参画について勉強しなければいけないと思った。(80代 女性)
- ・男女共同参画の会があることは知っていますが、会の活動、会則については殆ど聞いたことがありません。(名前だけでもっとPRする必要あり) 名前だけで何か知りません。行政との関わり等市民への啓蒙、PRに努めてもらいたい。名張市内の婦人団体は出たがり屋のおばさんの仲良し会では困ります。老若を問わず立派な知的な新しく移住をされた人材を募って名張市を盛り上げてください。期待しています。(80代 男性)

## IV 資料

### 男女共同参画に関する市民意識調査

#### 調査ご協力のお願い

日頃から、市行政に格別のご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

名張市では、平成19年3月に「名張市男女共同参画基本計画」を策定し、すべての人が互いの人権を尊重しつつ、喜びも責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向けて様々な取り組みを行ってきました。このたび、現在の基本計画期間が終了することから、次期計画策定に向けての基礎資料として活用するため、本調査を実施させていただきます。

この調査は、市内在住の満20歳以上の男女1500人を対象に無作為に選び、ご協力をお願いしています。

今回の調査で得られた結果は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外には使用しませんので、皆様にご迷惑がかかることは一切ございません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年10月

名張市長 亀井 利克

#### 【ご記入に際してのお願い】

1. アンケートには、封筒のあて名の方ご本人がご回答ください。ご本人が何らかの理由で、記入いただけない場合は、代理の方がご本人の回答を記入くださいますようお願いいたします。
2. 回答は、当てはまる番号に○印を付け、必要などころには、数字や言葉を記入してください。
3. ○印が、その他の場合は、( ) 内に詳しく記入してください。
4. 記入後は、無記名のまま、同封の返送用封筒に入れて、**10月31日(金)**までにポストへお入れください。(切手は不要です)
5. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。
6. この調査の全体または一部に答えたくない場合は、無理にお答えいただかなくても構いません。

名張市 生活環境部 人権・男女共同参画推進室

〒518-0492 名張市鴻之台1-1

TEL 0595-63-7559

FAX 0595-64-2560

## 1 男女平等意識について

問1. あなたは「男女共同参画（※）」という言葉を知っていましたか。次の中から 1つ選んで○印をつけてください。

1. 知っていた
2. 聞いたことがあったが内容は知らなかった
3. 知らなかった

(※) 男女共同参画：男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うことをいいます。また、このような社会を「男女共同参画社会」といいます。

問2. あなたは、次にあげるA～Hの分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。A～Hのそれぞれについて1つずつ選んで○印をつけてください。

	男性の方が非常に優遇されている	男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
A 家庭のなかで	1	2	3	4	5	6
B 職場のなかで	1	2	3	4	5	6
C 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
D 自治会やNPOなどの地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
E 社会通念や習慣、しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
F 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
G 政治(政策決定)の場で	1	2	3	4	5	6
H 社会全体で	1	2	3	4	5	6

## 2 家庭生活について

問3. あなたの家庭では、次にあげる家事を、主に誰がしていますか。A~Gのそれぞれについて1つずつ選んで○印をつけてください。

	夫	妻	子ども	家族全員	その他	わからない
A 掃除	1	2	3	4	5	6
B 洗濯	1	2	3	4	5	6
C 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
D 食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	6
E ゴミ捨て	1	2	3	4	5	6
F 子どもの世話、しつけや教育 (中学生以下の子どもがいる家庭のみお答え下さい)	1	2	3	4	5	6
G 親の世話、介護 (日常的に親の世話をしている家庭のみお答え下さい)	1	2	3	4	5	6

問4. 家事（掃除・洗濯・食事の支度・食事の後片付け等）は、どのように行うべきだと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 主に男性が行う
2. 主に男性が行い、女性も一部手伝う
3. 男性、女性が分け合って行う
4. 主に女性が行い、男性も一部手伝う
5. 主に女性が行う
6. その他 ( )

問5. あなたは、介護について、どのように行うべきだと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 介護は、家族が行うべきである →問5-1へ
2. 家族と行政が半々で行うべきである →問5-1へ
3. ホームヘルパーや施設サービスなどを充実させ、すべて行政が行うべきである →問6へ
4. その他 ( ) →問6へ
5. わからない →問6へ

問5-1. (問5で「1. 介護は家族が行うべきである」「2. 家族と行政が半々で行うべきである」と答えた方にお伺いします。家族の介護について、主にどなたが行うのがよいと考えますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 夫や息子など主に男性が行うのがよい
2. 妻や娘など主に女性が行うのがよい
3. 性別にかかわらず、家族が協力して行うのがよい
4. その他 ( )

問6. 男性が家事や育児、介護に充分関わられるようにするためには、どのようにすればよいと思いますか。次の中から2つまで選んで○印をつけてください。

1. 男性が家事や育児、介護を行うことに、男性、女性ともに抵抗感を感じないようにするため啓発や情報提供を行う
2. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする
3. 研修等を行い、男性の家事や育児、介護の技能を高める
4. 男性が、家事や育児を行うための仲間（ネットワーク）づくりを進める
5. 家庭と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設ける
6. その他（具体的に： )
7. わからない

問7. 育児や家族介護を行うために、育児休業や介護休業を取得できる制度があります。この制度を活用して、男性が育児休業や介護休業を取ることにについて、あなたはどのように思いますか。(1)、(2)のそれぞれについて、次の中から1つ選んで○印をつけてください。

(1) 育児休業

1. 積極的に取った方がよい
2. どちらかといえば取った方がよい
3. どちらかといえば取らない方がよい
4. 取らない方がよい
5. わからない

(2) 介護休業

1. 積極的に取った方がよい
2. どちらかといえば取った方がよい
3. どちらかといえば取らない方がよい
4. 取らない方がよい
5. わからない

### 3 就労・職業について

問8. 女性の職業への関わり方について、あなたはどのような形がもっとも望ましいと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 結婚や子どもの有無にかかわらず、職業を持ち続ける
2. 結婚するまでは職業を持つが、その後は持たない
3. 結婚して子どもができるまでは職業を持つが、その後は持たない
4. 結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ
5. 職業は一生持たない
6. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
7. わからない

問9. 働きたいと思う女性にとって、現在は、働きやすい環境であると思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 働きやすい環境である
2. どちらかといえば働きやすい環境であると思う
3. どちらかといえば働きにくい環境であると思う（理由： \_\_\_\_\_）
4. 働きにくい環境である（理由： \_\_\_\_\_）
5. わからない

問10. 女性が、出産、子育て、介護などの理由で仕事を辞めずに働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んで○印をつけてください。

1. 育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場の環境づくりを推進する
2. 在宅勤務、フレックスタイム制（自由勤務時間性）などの柔軟な勤務制度を導入する
3. 育児休業・介護休業中の賃金の補てん、その他の経済的支援を充実する
4. 育児や介護のための施設やサービスを充実する
5. 職場における女性への差別的待遇をなくすこと
6. 女性が昇格・昇進・昇任できる制度と環境づくりを推進する
7. 女性が働くことに対して家族や周囲が理解し、協力する
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
9. わからない

問11. 出産、子育て、介護などの理由で退職した女性が再就職するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つ選んで○印をつけてください。

1. 再就職に必要な知識や資格を習得するための研修会を開催する
2. 個別相談会を開催する
3. 女性採用を拡大する
4. 育児休業・介護休業制度を拡充する
5. 育児や介護のための施設やサービスを充実する
6. 職場における女性差別やセクハラを防止する
7. 家族や周囲が理解し協力する
8. 家事や育児、介護などに男性も参加する
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
10. わからない

#### 4 女性の社会参画について

問12. 地域づくり組織、自治会長やPTA会長などの役職に、女性の方はあなた自身が、男性の方はあなたの妻などの身近な女性が推薦されたとしたら、あなたはどうしますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 引き受ける・引き受けることをすすめる →問14へ
2. 断る・断ることをすすめる →問13へ

問13. (問12で「2. 断る・断ることをすすめる」と答えた方にお聞きします。) その理由は何ですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 家事・育児・介護に支障が出るから
2. 活動時間が長くなり、帰りが遅くなるから
3. 男性が多数を占める組織に入ることに抵抗を感じるから
4. 家族の支援、協力が得られないから
5. 女性は経験が少ないから
6. その他 (具体的に: )

問14. あなたは、政治・行政・事業所や地域において、政策等の方針決定の場への女性の参画についてどのように思われますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 多いと思う →問16へ
2. 少ないと思う →問15へ
3. どちらでもない →問16へ
4. わからない →問16へ

問15. (問14で「2. 少ないと思う」と答えた方にお伺いします。) あなたは、政治・行政・事業所や地域において、政策等の方針決定の場への女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識
2. 男性優位の組織経営
3. 家族の支援・協力が得られない
4. 女性の能力開発の機会が不十分
5. 女性側の積極性が充分でない
6. 女性の参画を積極的にすすめようと意識している人が少ない
7. その他 (具体的に: )
8. わからない

問16. 以下の言葉のうち、見たり聞いたりしたことがあるものすべてに○印をつけてください。

1. 男女共同参画社会基本法
2. 男女雇用機会均等法
3. 名張市男女共同参画推進条例
4. 名張市男女共同参画基本計画
5. 名張市男女共同参画都市宣言
6. DV防止法（正式名：配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）
7. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
8. ポジティブ・アクション（積極的改善措置）
9. リプロダクティブヘルス／ライツ（性と生殖に関する女性の健康・権利）
10. ジェンダー（文化的社会的につくられた性別）
11. 見たり聞いたりしたものはない

5 男女の人権について

問17. あなたはこれまでに、配偶者や恋人から、次のようなことをされた経験がありますか。A～Gのそれぞれについて1つずつ選んで○印をつけてください。

	何度もあった	1、2度あった	まったくない
A 殴る、蹴るなどの身体的暴力を受ける	1	2	3
B 性的行為を強制される	1	2	3
C 無視され続ける	1	2	3
D 交友関係や電話、電子メールを細かく監視される	1	2	3
E 大声で怒鳴られたり、暴言を吐かれる	1	2	3
F 外出を制限される	1	2	3
G 生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられる	1	2	3

問18. (問17で1つでも「1. 何度もあった」、「2. 1、2度あった」と答えた方にお伺いします。) あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- |                    |
|--------------------|
| 1. 相談した →問18-1へ    |
| 2. 相談しなかった →問18-2へ |

問18-1. (問18で「1. 相談した」と答えた方にお伺いします。) 相談したのはどちらですか。あてはまるものすべてに○印をお願いします。

- |  |
|--|
| 1. 友人、知人<br>2. 家族<br>3. 職場の同僚や上司<br>4. 警察、弁護士、家庭裁判所<br>5. 医師<br>6. 人権擁護委員<br>7. 三重県女性相談所等、公的な相談機関<br>8. 民間の相談機関<br>9. その他 (具体的に： ) |
|--|

問18-2. (問18で「2. 相談しなかった」と答えた方にお伺いします。) 相談しなかった理由はなんですか。あてはまるものすべてに○印をお願いします。

1. どこに相談してよいのかわからなかった
2. 自分さえ我慢すればよいと思った
3. 相手の仕返しが怖かった
4. 相談しても無駄だと思った
5. 恥ずかしくて誰にも言えなかった
6. 自分にも悪いところがあると思った
7. その他 ( )

DVかな?と思ったら、一人で悩まず下記相談窓口にご相談ください。

秘密は厳守、無料です。

女性相談室 0595-63-2517 (月～金 8:30～17:00)

男性のための相談 0595-63-5336 (毎月第2木曜日 19:00～21:00)

## 6 「名張市男女共同参画センター」について

問19. あなたは、「名張市男女共同参画センター」をご存知ですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 利用したことがある →問20へ
2. 名前は知っているが利用したことはない →問21へ
3. 知らない →問22へ

問20. (問19で「1. 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。)

あなたはどのようなかたちで「名張市男女共同参画センター」を利用しましたか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

1. センター主催の催し物や講座に参加した
2. センター以外の主催の催し物に参加した
3. 自主的なサークル活動の場として利用した
4. 印刷機を利用した
5. 図書コーナーを利用した
6. 弁護士相談や女性相談、男性相談、メンタル相談を利用した
7. その他(具体的に: )

問21. あなたは「名張市男女共同参画センター」のホームページ(※)をご覧になったことがありますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. はい
2. いいえ

(※ホームページ: <http://www.emachi-nabari.jp/danjo-center/>)

## 7 あなた自身のことについて

問22. 次にあげる問A～Eについてそれぞれ1つずつ選んで○印をつけてください。

問A あなたの性別は	1. 男性	2. 女性	
問B あなたの年齢は	1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代	4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳代	7. 80歳以上
問C あなたの職業は (産前・産後休暇、 育児休業中の人も 働いているとみな します。)	1. 勤め人 (フルタイム) 2. パートタイマー・アルバイト 3. 派遣労働者 4. 農林水産業 ※家族従事者も含む 5. 自営業 (商工・建築・サービス業等) ※家族従事者も含む	6. 内職・在宅勤務 7. 家事専業・家事手伝い 8. 学生 9. 無職 10. その他 (具体的に: )	
問D あなたは結婚して いますか	1. 既婚 (配偶者あり)	2. 既婚 (離別・死別)	3. 未婚
問E あなたのお宅の家 族構成は	1. ひとり暮らし 2. 夫婦だけ 3. 親と子	4. 親と子と孫 5. その他 (具体的に: )	

## 8 男女共同参画に関して、ご意見がありましたらご記入ください。

---



---



---



---



---



---



---



---



---



---

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが平成26年10月31日(金)までに同封の返信用封筒(切手は不要です)に入れてご返送してください。